

愛知県美術館年報

目次

展示・展覧会	5
2002年度観覧者数一覧	5
所蔵作品展	6
所蔵作品展展示作品リスト	7
小企画展（テーマ展示）	18
企画展	20
移動美術館	30
作品の収集と保存管理	33
作品の収集	33
収集方針・収集の状況など	33
新収蔵作品	34
保存・修復	38
所蔵作品の貸出	40
教育普及	44
出版・発行	44
講演会・講座・シンポジウム等	44
ギャラリートーク	45
小・中・高の先生方との鑑賞学習交流会	46
各種鑑賞プログラム	46
博物館実習	49
友の会	50
調査研究	52
ギャラリー（貸館）	53
利用状況	53
利用団体一覧	54
組織および職員構成図	56
関係役員会員名簿	57

2002年度観覧者数一覧

所蔵作品展

※2001年度第Ⅲ期の()は年度内(2002年4月1日－2003年3月31日)の数字

展示期	会 期	日 数	入場者数	一日平均
2001年度第Ⅲ期	2002年2月8日－4月7日	(6)	(7,120)	(1,186)
	企画展共通入場者数 所蔵作品展のみの入場者数		(7,113) (7)	
2002年度第Ⅰ期	4月26日－9月23日	127	31,298	246
	企画展共通入場者数 所蔵作品展のみの入場者数		28,869 2,429	288 19
2002年度第Ⅱ期	9月14日－2003年1月20日	108	56,281	521
	企画展共通入場者数 所蔵作品展のみの入場者数		54,462 1,819	504 17
2002年度第Ⅲ期	2003年3月1日－3月30日	26	7,813	300
	所蔵作品展の入場者数		7,813	300
	合 計	267	102,512	383
	企画展共通入場者数 所蔵作品展のみの入場者数		90,444 12,068	338 45

企画展

展覧会名	会期・日数	入場者数	一日平均
大英博物館所蔵フランス素描展	2002年4月26日－6月30日 (57日間)	25,638	449
韓国の色と光	7月26日－9月23日 (52日間)	10,652	204
ミロ展	10月4日－12月1日 (51日間)	83,084	1,629
中西夏之展	12月20日－2003年2月23日 (51日間)	14,525	284
合計	(211日間)	133,899	635

所蔵作品展

所蔵作品展

所蔵作品によって20世紀の美術を系統的に展示することを基本として、3期の所蔵作品展を開催した。そのなかで第3期（全館所蔵作品展）には展示室1～3を使用して「時の贈りもの」と題して木村定三氏寄贈作品をまとめて紹介するなど、所蔵作品展にも企画性を盛り込むよう工夫した。

小企画展（テーマ展示）

所蔵作品展展示エリアの一部を用いて、特定のテーマに基づく小企画展を開催している。これは必ずしも所蔵作品によらず、20世紀美術史上重要な作家や運動、現代美術の新しい動向等を簡潔に紹介したり、学芸員の調査研究活動を展示によって発表する場として企画されている。2002年度は下記展示を行った。

・「加藤 豪展」 展示作品 4点 2003年3月1日－ 3月30日

2002年度所蔵作品展開催状況

展示期	会期	展示作品数
第Ⅰ期前期	2002年4月26日～7月14日	絵画82 彫刻・立体14 版画16 計112
後期	7月26日～9月23日	絵画56 彫刻・立体12 版画30 計98
第Ⅱ期前期	10月4日～12月8日	絵画70 彫刻・立体25 版画13 計108
後期	12月20日～2003年2月23日	絵画65 彫刻・立体11 版画50 水彩・素描13 計139
第Ⅲ期	2003年3月1日～3月30日	絵画57 彫刻・立体13 版画7 素描7 計84

展示室構成（○中の数字は展示室番号）

第Ⅰ期前期	④フランスに学んだ美術家たち ⑤20世紀の美術 ⑥ドイツ表現主義の青春 ⑦愛知の日本画 ⑧愛知の美術家 大沢鉦一郎の世界
第Ⅰ期後期	④夏休み特集「人はいろいろ」 ⑤20世紀の美術 ⑥韓国の色と光 ⑦長谷川潔 ⑧愛知の画家 鬼頭鍋三郎
第Ⅱ期前期	④近代の洋画 ⑤20世紀の美術 ⑥光の芸術 ⑦戦後の日本画 ⑧ジョアン・ミロ《アルバム13》
第Ⅱ期後期	④竹内栖鳳と京都画壇 ⑤20世紀の美術 ⑥麻生三郎・松本竣介・靄光 ⑦明治の絵画 ⑧オットー・ディックスの版画
第Ⅲ期	①時の贈りもの ②時の贈りもの ③時の贈りもの ④戦後の洋画 ⑤20世紀の美術 ⑥加藤豪 ⑦新収蔵作品展 ⑧新収蔵作品展

所蔵作品展 展示作品リスト

(*印は三重県立美術館所蔵作品)

■2002年度 第I期 前期(4月26日－7月14日)

前室 学芸員お薦めの1点	岡 鹿之助 窓		1949
	ジム・ダイン 芝刈機		1962
4室 フランスに学んだ美術家たち	三岸 節子 らくがき		1973
	福本 章 樹のある風景		1965
〈絵 画〉	木村 忠太 スムールの運河		1967
	田淵 安一 延女たち		1964
	山本 芳翠 西洋裸婦		1882頃
	久米 桂一郎 秋景		1892
	黒田 清輝 暖き日		1897
	山下 新太郎 白耳義の少女		1909
	梅原 龍三郎 若き羅馬人		1909
	梅原 龍三郎 横臥裸婦		1908
	安井 曾太郎 婦人像		1912頃
	林 俊衛 サント・ヴィクトワール		1925
	里見 勝蔵 裸婦		1928-1929
	前田 寛治 褐衣婦人像		1925
	伊藤 廉 肘をつく女		1929
	荻須 高德 線路に面した家		1955
	荻須 高德 サンドニ		1964
	佐分 真 裸婦		1930頃
	木下 孝則 読書		1962
	野口 弥太郎 門		1931頃
	小磯 良平 婦人像		1965
	鬼頭 鍋三郎 マドモワゼルM		1954
	林 武 ノートルダム		1960
	ジョージア・オキーフ 抽象 第6番		1928
	ジョアン・ミロ 絵画		1925
	マックス・エルンスト ポーランドの騎士		1954
	ポール・デルヴォー こだま		1943
	ジャン・デュビュッフェ 二人の脱走兵		1953
	アントニ・タピエス コンポジション		1977
	サム・フランシス 消失に向かう地点の青		1958
	アド・ラインハート No. 114		1950
	モーリス・ルイス デルタ・ミュー		1960-61
	フランク・ステラ River of Ponds IV		1969
	ロバート・ラウシェンバーグ プレヴィュー(白霜エディション)		1974
	ルイズ・ニーヴェルソン 漂う天界		1959-66
	桑山 忠明 茶白青		1968
	猪熊 弦一郎 地図の中の日曜日		1979
	猪熊 弦一郎 マンハッタンA		1966
	荒川 修作 作品		1963
	辰野 登恵子 Untitled(無題) 95-1		1995
	根岸 芳郎 97-11-18	1997 寄託作品	
〈彫刻・立体〉	アレクサンダー・アーチベンコ 歩く女		1912
	レイモン・デュシャン=ヴイヨン 恋人たち		1913
6室 ドイツ表現主義の青春	ヴァンリー・カンディンスキー 鏡		1907

ヴァシリイ・カンデンスキー	夕暮れ	1903
エミール・ノルデ	騎士	1906
エゴン・シーレ	しゃがみこむ女 1914 (1918)	
オスカー・ココシュカ	夢見る少年たち	1908
エルンスト・ルツヴァヒ・キルヒナー	グラスのある静物	1912
エルンスト・ルツヴァヒ・キルヒナー	三本の道	1917
ライオネル・ファイニンガー	ダースドルフ	1918
エーリヒ・ヘッケル	〈新時代のドイツ美術展I〉のポスター 1920	
エルンスト・バルラッハ	忘我	1911-1912
エルンスト・バルラッハ	母なる大地	1921
エミール・ノルデ	静物L (アマゾン、能面等) 1915	

7室 愛知の日本画

石川 英鳳	猿候の図	1935頃
我妻 碧宇	大仏殿暮色	1950
森村 宜桶	四季草花図	1925頃
太田 一彩	兎	1930頃
渡辺 幾春	少女 制作年不詳 寄託作品	
嶋谷 自然	緑影	1950

■2002年度 第I期 後期(7月26日-9月23日)

前室 学芸員お薦めの1点

星野 真吾	喪中の作品(昇天) 1965	
-------	-------------------	--

8室 愛知の美術家 大沢鉦一郎の世界

大沢 鉦一郎	大曾根風景	1919
大沢 鉦一郎	自画像	1919
大沢 鉦一郎	ジンベを着た少女	1920
大沢 鉦一郎	少女海水浴	1932
大沢 鉦一郎	少女	1928
大沢 鉦一郎	人形を持つ少女	1930
大沢 鉦一郎	作品	1932
大沢 鉦一郎	女子海水浴下絵I	1932
大沢 鉦一郎	子供	1950
大沢 鉦一郎	手	1916
大沢 鉦一郎	手	1918
大沢 鉦一郎	自画像	1919
大沢 鉦一郎	婦人像	1919
大沢 鉦一郎	少女	1919
大沢 鉦一郎	自画像	1919頃
大沢 鉦一郎	その子像	1920
大沢 鉦一郎	婦人像	1920
大沢 鉦一郎	婦人像	1920

大沢 鉦一郎	裸婦	1923
--------	----	------

前室

長谷川 潔	小鳥と胡蝶	1961
浜口 陽三	ざくろ	1957
駒井 哲郎	夜の魚	1951
山口 勝弘	ヴァイトリース	1955
アレクサンダー・コールドー	片膝ついて	1944

ロビーなど

ジョージ・シーガル	ロバート&エセル・スカルの肖像 1965	
ジャーコモ・マンズー	踊りのステップ [®]	1953
アレクサンダー・コールドー	ゴースト 1976 寄託作品	

屋外展示スペース

〈彫刻・立体〉

コルネリス・ジットマン	カリブの女	1983
アルナルド・ボモドーロ	飛躍の瞬間	1984
加藤 昭男	大地	1986
小田 襄	円柱の構造	1988
今井 瑾郎	大地	1992

中村 正義	ピエロ	1963
中村 正義	顔	1976
中村 正義	顔	1976

星野 真吾	正夢か	1981
小嶋 悠司	穢土	1985
麻生 三郎	胴体と頭と電球	1964
小山田 二郎	愛	1956
小松崎 邦雄	ゲット・バック	1977
斎藤 吾朗	屋根の上の記念撮影	1973
福沢 一郎	政治家地獄 大企業と癒着の現象	1973
三尾 公三	FICTION SPACE (X)	1974
稲垣 考二	陽光	1990
森村 泰昌	Doublonge (Dancer 2) 1988 寄託作品	
ラインハルト・セビエ	思想家	1993

5室 20世紀の美術

〈絵 画〉

藤田 嗣治	青衣の女	1925
パブロ・ピカソ	青い肩掛けの女	1902
ラウル・デュフィ	サンタドレスの浜辺	1906
エドゥアール・ヴェイヤール	窓辺の女	1898
ビエール・ボナール	子供と猫	1906頃
ビエール・ボナール	にぎやかな風景	1913頃
グスタフ・クリムト	人生は戦いなり(黄金の騎士)	1903
アメデオ・モデリアーニ	カリアティード	1911-13
ライオネル・ファイニンガー	夕暮れの海 I	1927
エルnst・ルートヴィヒ・キルヒナー	グラスのある静物	1912
フランティšek・クプカ	灰色と金色の展開	1919

ジャック・ヴィヨン	存在	1920
ニコラ・ド・スタール	コンポジション	1948
ジョージア・オキーフ	抽象 第6番	1928
ジョアン・ミロ	絵画	1925
マックス・エルンスト	ポーランドの騎士	1954
ポール・デルヴォー	こだま	1943
ジャン・デュビュッフエ	二人の脱走兵	1953
アントニ・タピエス	コンポジション	1977
サム・フランシス	消失に向かう地点の青	1958
アド・ラインハート	No. 114	1950
モーリス・ルイス	デルタ・ミュー	1960-61
フランク・ステラ	River of Ponds IV	1969
ルイズ・ニーヴェルソン	漂う天界	1959-66
桑山 忠明	茶白青	1968
荒川 修作	作品	1963
辰野 登恵子	Untitled (無題) 95-1	1995
根岸 芳郎	97-11-18	1997 寄託作品
クリスト	旧ドイツ帝国国会議事堂の梱包	1986

〈彫刻・立体〉		
アレクサンダー・アーチベンコ	歩く女	1912
レイモン・デュシャン=ヴィヨン	恋人たち	1913
ジョージ・シーガル	ロバート&エセル・スカルの肖像	1965

6室 「韓国の色と光」ビデオアート

陵根丙	使者のメッセージ	2002
-----	----------	------

7室 長谷川潔		
長谷川 潔	プロヴァンスの古市(グラス)	1925
長谷川 潔	サン・ポール・ド・ヴァンスの村	1929
長谷川 潔	摩天楼上空のボアン・ダンテロガシオン号	1930
長谷川 潔	アネモネ	1930
長谷川 潔	野の枯草	1931
長谷川 潔	コクリコと野花(B)	1932
長谷川 潔	オレンジと葡萄	1932
長谷川 潔	二つのアネモネ	1934
長谷川 潔	コップのダリア	1935
長谷川 潔	花(切子グラスに挿したアネモネと草花)	1944-45
長谷川 潔	サン=ポール=ド=ヴァンスの風景	1936
長谷川 潔	木と月	1945
長谷川 潔	一樹(ニレの樹)	1941
長谷川 潔	アカシアの老樹	1954
長谷川 潔	再生したる林檎樹	1956
長谷川 潔	野辺小禽	1957
長谷川 潔	静物	1958
長谷川 潔	瓶に挿した秋草(ビエド・セブル)	1959
長谷川 潔	小鳥と落葉	1959
長谷川 潔	人形のある静物	1960
長谷川 潔	骰子独楽と幸福の星	1961
長谷川 潔	コップに挿した種子草	1961
長谷川 潔	飼い慣れた小鳥(西洋碁棋など)	1962

長谷川 潔	狐と葡萄	1963
長谷川 潔	酒杯の草花	1963
長谷川 潔	小鳥と二つの枯葉	1964
長谷川 潔	砂漠のバラと海の星	1964
長谷川 潔	メキシコの鳩 静物画	1966
長谷川 潔	本の上の小鳥 静物画	1967
長谷川 潔	メキシコの種子草 静物画	1967

8室 愛知の画家 鬼頭鍋三郎

鬼頭 鍋三郎	浴後	1938
鬼頭 鍋三郎	二人のバレリーナ	1952
鬼頭 鍋三郎	マドモアゼルM	1954

鬼頭 鍋三郎	西洋婦人 モニク嬢	1954
鬼頭 鍋三郎	紫威花	1963
鬼頭 鍋三郎	春装譜	1965
鬼頭 鍋三郎	宵山に	1974
鬼頭 鍋三郎	室内	1948
鬼頭 鍋三郎	紫陽花	1961

前室

山口 長男	庭	1935
山田 光春	門	1936
山田 光春	蝨	1937
アレクサンダー・コールドー	片膝ついて	1944

■2002年度 第Ⅱ期 前期(10月4日-12月8日)

前室 館長お薦めの1点

オーギュスト・ロダン	歩く人	1900
------------	-----	------

4室 近代の洋画

〈絵 画〉

山本 芳翠	月下の裸婦	1882頃
高橋 由一	不忍池	1880頃
青木 繁	太田の森	1902
黒田 清輝	暖き日	1897
山下 新太郎	白耳義の少女	1909
安井 曾太郎	婦人像	1912頃
梅原 龍三郎	若き羅馬人	1909

小出 楠重	N婦人像	1918
中村 彝	少女裸像	1914
坂本 繁二郎	海岸の家	1915
岸田 劉生	斎藤与里氏像	1913
河野 通勢	自画像	1917
木村 莊八	壺を持つ女	1915
大沢 鉦一郎	大曾根風景	1919
長谷川 利行	酒売場	1927
前田 寛治	褐衣婦人像	1925
北川 民次	メキシコ三童女	1937
藤田 嗣治	青衣の少女	1925

戸張 孤雁	煌く嫉妬	1924
柳原 義達	黒人の女	1956
高田 博厚	女のトルソ	1937

5室 20世紀の美術

〈絵 画〉

パブロ・ピカソ	青い肩掛けの女	1902
ジャック・ヴィヨン	存在	1920
フランティšek・クプカ	灰色と金色の展開	1919
ジャーコモ・パッラ	太陽の前を通過する水星(習作)	1914
アルペール・マルケ	ノートルダムの後陣	1902
ビエール・ボナール	子供と猫	1906頃
ビエール・ボナール	にぎやかな風景	1913頃
グスタフ・クリムト	人生は戦いなり(黄金の騎士)	1903
エミール・ノルデ	静物L(アマゾン、能面等)	1915
エルスト・ルトヴァヒ・ギルヒナー	グラスのある静物	1912
ライオネル・ファイニンガー	夕暮れの海 I	1927
ベン・ニコルソン	1933(スペインの松葉書のあるコラージュ)	1933
パウル・クレー	女の館	1921
パウル・クレー	蛾の踊り	1923
パウル・クレー	回心した女の墮落	1939
クルト・シュヴィッターズ	メルツ絵画52、美容	1920
クルト・シュヴィッターズ	メルツ絵画305、ロボジッツ	1921
フランシス・ピカビア	糸巻き	1921-22
ポール・デルヴォー	こだま	1943

ジョージア・オキーフ	抽象 第6番	1928
ジャン・デュビュッフエ	二人の脱走兵	1953
ニコラ・ド・スタール	コンポジション	1948
モーリス・ルイス	デルタ・ミュー	1960-61
ルーチョ・フォンターナ	空間概念	1960
フランク・ステラ	River of Ponds IV	1969
桑山 忠明	茶白青	1968
アド・ラインハート	No. 114	1950
サム・フランシス	消失に向かう地点の青	1958
堂本 尚郎	絵画 1962-25	1962
加納 光於	繁み・運動・エレメントB	1988
辰野 登恵子	Untitled 95-1	1995

〈彫刻・立体〉

アレクサンダー・アーチベンコ	歩く女	1912
レイモン・デュシャン＝ヴィヨン	恋人たち	1913
ハンス・アルプ	森	1917頃
ハンス・アルプ	星座	1932
ジョージ・シーガル	ロバート&エセル・スカルの肖像	1965
ジム・ダイン	芝刈機	1962
イヴ・クライン	アルマン	1962
ルイズ・ニーヴェルソン	漂う天界	1959-66

6室 光の芸術

山口 勝弘	港NO.2	1967
伊藤 福紫	空間と時間の中に	1805 1998

7室 戦後の日本画

加山 又造	黒い鳥	1957
小松 均	富士山(上)	1977
小松 均	富士山(下)	1977
東山 魁夷	雪の山郷	1991
平川 敏夫	黄山松雨	1982
吉田 義彦	雨余桂林	1982
田淵 俊夫	すぎばやし	1989
山本 丘人	幻雪	1978
平山 郁夫	楼蘭の遺跡・昼	1990

8室 ジョアン・ミロ《アルバム13》

ジョアン・ミロ	アルバム13*	1948
---------	---------	------

前室

〈絵 画〉

アンディ・ウォーホル	レディーズ・アンド・ジェントルメン	1975
斎藤 義重	作品	1962
熨光	自画像	1934

〈彫刻・立体〉

アレクサンダー・コルダー	ゴースト	1976 寄託作品
荒木 高子	砂の聖書	1983
工藤 哲巳	果てしなく緑糸がからまるマルセル・デュシャン	1977
アレクサンダー・コルダー	片膝ついて	1944

ロビーなど

〈彫刻・立体〉

ヴァルヘルム・レームブルック 立ち上がる青年 1913

屋外展示スペース

〈彫刻・立体〉

コルネリス・ジットマン カリブの女 1983

アルナルド・ボモドーロ 飛躍の瞬間 1984

加藤 昭男 大地 1986

小田 襄 円柱の構造 1988

今井 瑠郎 大地 1992

■2002年度 第Ⅱ期 後期(12月20日-2月23日)

前室 お薦めの1点

エミール・ノルデ 静物L(アマゾン、能面等) 1915

4室 竹内栖鳳と京都画壇

〈絵 画〉

土田 麦遷 蓮華(下図) 1930

宇田 荻邨 木陰* 1922

竹内 栖鳳 虎・獅子図* 制作年不詳

竹内 栖鳳 狐狸図 1908

橋本 関雪 猿候図 1938頃

山本 春挙 溪村暮靄図 1900頃

村上 華岳 梅溪山道 1914

村上 華岳 魔障之図 1923

村上 華岳 散華 1939

入江 波光 南郊小景 1923

入江 波光 五月の海* 制作年不詳

土田 麦遷 南国早春 1915頃

富田 溪仙 梨郷晩春 制作年不詳

5室 20世紀の美術

〈絵 画〉

パブロ・ピカソ ロマの女* 1900頃

パブロ・ピカソ 青い肩掛けの女 1902

オーギュスト・ルノワール 青い服を着た若い女* 1876

ビエール・ボナール 子供と猫 1906頃

エドゥアール・グイヤール 窓辺の女 1898

藤田 嗣治 青衣の少女 1925

アルペール・マルケ ノートルダムの後陣 1902

ビエール・ボナール にぎやかな風景 1913頃

アンリ・マティス 待つ 1921-1922

ジャック・ヴィヨン 存在 1920

フランティšek・クプカ 灰色と金色の展開 1919

ライオネル・ファイニンガー 夕暮れの海Ⅰ 1927

エルンスト・ルートヴィヒ・キルヒナー グラスのある静物 1912

エルンスト・ルートヴィヒ・キルヒナー 日の当たる庭 1935

パウル・クレー 女の館 1921

ジョルジュ・ルオー キリスト磔刑* 1939頃

サルバドール・ダリ バッラーディオのイタリア柱廊* 1937-38

ジョアン・ミロ 絵画 1925

ポール・デルヴォー こだま 1943

マックス・エルンスト ボーランドの騎士 1954

アントニ・タビエス ひび割れた黒と白い十字架* 1976

アントニ・タビエス コンポジション 1976

モーリス・ルイス デルタ・ミュー 1960-61

フランク・ステラ River of Ponds IV 1969

サム・フランシス 消失に向かう地点の青 1958

磯辺 行久 WORK 63-28* 1963

根岸 芳郎 97-11-18 1997

辰野 登恵子 Untitled 95-1 1995

猪熊 弦一郎 地図のある日曜日 1979

猪熊 弦一郎 マンハッタン 1966

〈彫刻・立体〉

ジョルジュ・ミンヌ 聖遺物箱を担ぐ少年 1897

アレクサンダー・アーチベンコ 歩く女 1912

ジョージ・シーガル ロバート&エセル・スカルの肖像 1965

ルイズ・ニーヴェルソン	漂う天界	1959-66
6室 麻生三郎・松本竣介・顰光		
麻生 三郎	母子のいる風景*	1954
麻生 三郎	男の顔*	1972
麻生 三郎	荒川B*	1954
麻生 三郎	大崎駅付近*	1959
麻生 三郎	子供*	1965
麻生 三郎	目B*	1967
松本 竣介	風景*	1948
松本 竣介	ニコライ堂	1941
松本 竣介	街*	1946
松本 竣介	男*	1947
顰光	編み物をする女	1934
顰光	自画像	1934
顰光	鷺*	1937
7室 明治の絵画		
アントニオ・フォンタネージ	沼の落日*	1876-78

■2002年度 第Ⅲ期(3月1日-3月30日)

前室 お薦めの1点		
高橋 由一	不忍池	1880頃
1室 時の贈りもの 木村定三コレクション		
作者不詳	獅子像	制作年不詳
作者不詳	獅子像	制作年不詳

浅井 忠	八王子付近の街	1887
高橋 由一	不忍池	1880頃
高橋 由一	厨房具	1878頃
岩橋 教章	鴨の静物*	1875
山本 芳翠	月下の裸婦	1882頃
川村 清雄	ヴェネツィア風景*	1913-1914
久米 桂一郎	秋景下図	1895
黒田 清輝	暖き日	1897
藤島 武二	浜辺*	1898
藤島 武二	レマン湖*	1908
長原 孝太郎	自画像*	1900
青木 繁	自画像	1905
青木 繁	太田の森	1902
藤島 武二	裸婦*	1906頃
藤島 武二	朝鮮風景	1913
鹿子木 孟郎	狐のショールをまとえる婦人*	1902
満谷 国四郎	裸婦*	1900

浦上玉堂	山紅於染図 江戸時代・文化年間（1810年代） 重要文化財
浦上玉堂	秋色半分図 1818 重要文化財
浦上玉堂	酔雲醒月図 1818 重要文化財
浦上玉堂	山水図 1818 重要文化財
浦上玉堂	五言絶句 1818 重要文化財

8室 オットー・ディックスの版画《戦争》		
前室		
〈絵 画〉		
中村 彝	静物	1915頃
山口 長男	庭	1935
熊谷 守一	鳥	1938
〈彫刻・立体〉		
アレクサンダー・コルダー	ゴースト	1976 寄託作品
屋外展示スペース		
〈彫刻・立体〉		
コルネリス・ジットマン	カリブの女	1983
アルナルド・ボモドーロ	飛躍の瞬間	1984
加藤 昭男	大地	1986
小田 襄	円柱の構造	1988
今井 瑾郎	大地	1992

与謝蕪村	若竹図 江戸時代（明和7-安永6）
与謝蕪村	紫陽花にほととぎす図 江戸時代（明和7-安永6）
与謝蕪村	薄に鹿（茅艸鹿）図 江戸時代（明和7-安永6）
与謝蕪村	富嶽列松図 江戸時代（明和7-安永6） 重要文化財
作者不詳	釈迦如来座像 タイ・17世紀

作者不詳	毘沙門天立像 平安時代（12世紀）
作者不詳	天部像 平安時代（12世紀）
作者不詳	不動明王立像 平安時代（12世紀）
作者不詳	三尊仏龕像 中国・北魏時代（6世紀前半）
作者不詳	如来坐像 北魏末―東魏時代（6世紀前半）
作者不詳	如来坐像 北魏末―東魏時代（6世紀前半）
作者不詳	玉琮
作者不詳	玉琮
作者不詳	器台

2室 時の贈りもの 木村定三コレクション

熊谷 守一	蝦蟇に蟻	1938
熊谷 守一	蒲公英に蝦蟇	1938
熊谷 守一	鴨路草	制作年不詳
熊谷 守一	ドクダミに蛇	1941
熊谷 守一	雨だれ	制作年不詳
熊谷 守一	山ぶどう	制作年不詳
熊谷 守一	猫	制作年不詳
熊谷 守一	犬	1958
熊谷 守一	河童	1954
熊谷 守一	鯉	1958
熊谷 守一	白兔	1951
熊谷 守一	眠猫	制作年不詳
熊谷 守一	牛	1949
熊谷 守一	機織虫	1944

熊谷 守一	熟柿	1943
熊谷 守一	堇花図花瓶	1944
熊谷 守一	熊蜂図壺	1947
熊谷 守一	線裸	1927
熊谷 守一	裸婦	1954
熊谷 守一	引き潮	1951
熊谷 守一	上げ潮	1952
熊谷 守一	小牛	1952
熊谷 守一	漁村	1954
熊谷 守一	西日	1954
熊谷 守一	朝の日輪	1955
熊谷 守一	土饅頭	1954
熊谷 守一	白仔猫	1958
熊谷 守一	三毛猫	1959
熊谷 守一	白猫	1962
熊谷 守一	裸	1952
熊谷 守一	石亀	1957
熊谷 守一	雨水	1959
熊谷 守一	雨滴	1961
熊谷 守一	少女	1963
熊谷 守一	伸餅	1949
熊谷 守一	たまご	1959
熊谷 守一	瓜	1965
熊谷 守一	百日草	制作年不詳

熊谷 守一	笹百合	1964
熊谷 守一	心月輪	1940
熊谷 守一	蒼蠅	1941
熊谷 守一	淡如水	1962
熊谷 守一	壺中有天地	1958
熊谷 守一	からす	1950
熊谷 守一	すずめ	1950
熊谷 守一	かみさま	1953
熊谷 守一	ほとけさま	1950
熊谷 守一	お前百までわしゃいつまでも	1973
熊谷 守一	いろは歌	1971
長谷川 利行	パンジー	1938
長谷川 利行	菊花など	1937
長谷川 利行	ノアノアの少女	1937
長谷川 利行	霊岸島の倉庫	1937
長谷川 利行	伊豆大島	1937
香月 泰男	風船売り	1960
香月 泰男	風船売り	1960
香月 泰男	ドリル	1963
香月 泰男	リンドウの図平鉢	1958
香月 泰男	花図平鉢	1958
香月 泰男	数珠玉	制作年不詳
香月 泰男	綱渡	1963
香月 泰男	懸垂	1960

香月 泰男	ナホトカ	1961
香月 泰男	サッカー	1970
香月 泰男	ざくろ	1958
香月 泰男	さくらんぼ	1960頃
香月 泰男	海老	1962
香月 泰男	モンマルトル	1956
香月 泰男	クレタ、ヘラクリオン	1972
香月 泰男	洗濯	1963
香月 泰男	綱渡り	1963
香月 泰男	工事	1962
香月 泰男	切株(シベリア)	1963
香月 泰男	鋸(シベリア)	1963
前田 青邨	朝鮮五題 魚売	1939
前田 青邨	朝鮮五題 水汲	1939
小川 芋銭	若葉に蒸さるる木精	1921
小川 芋銭	水虎と其眷属	1921
小川 芋銭	山彦の谷	1921
小川 芋銭	沼四題 檜原	1922
小川 芋銭	沼四題 泥鰌打	1922
小川 芋銭	沼四題 家鴨小屋	1922
小川 芋銭	沼四題 小鰕網	1922
小川 芋銭	暁山雲	1923
小川 芋銭	紆泉道人洗面之池	1926
小川 芋銭	水芭蕉	1926頃

小川 芋銭	闘鶏村	1933
小川 芋銭	桃花流水送漁夫	1924
小川 芋銭	登龍門	1937
小川 芋銭	大鵬	1937
小川 芋銭	河童松	制作年不詳
小川 芋銭	鳥貝から生れるカッパ	1937
小川 芋銭	山姥とカッパ	制作年不詳
小川 芋銭	金太郎とカッパ	制作年不詳
小川 芋銭	卯月の芭蕉庵	1935
小川 芋銭	水郷春日	1936頃
小川 芋銭	七月清涼味	1937
小川 芋銭	墨跡	制作年不詳
須田 剋太	東京夜景	1983
須田 剋太	東大寺	1981
須田 剋太	東大寺落慶供養	1987
須田 剋太	鏡獅子	1989
須田 剋太	舞妓	1989
須田 剋太	遊女之図	1988
須田 剋太	田舎娘	1986
須田 剋太	生命根源	1984
須田 剋太	天気晴朗	1986
須田 剋太	○	制作年不詳
須田 剋太	風	1989
須田 剋太	大	制作年不詳

3室 時の贈りもの 木村定三コレクション

尾崎 良二	サパークラブ	1970
尾崎 良二	浜ごうの咲く浜(伊良湖)	1975
尾崎 良二	通園	1965
尾崎 良二	朝陽・能登	1967
尾崎 良二	漣	1976
尾崎 良二	峠の笹波(十国峠)	1981
尾崎 良二	海霧這い昇る北山崎(陸中海岸)	1989
尾崎 良二	春の水(鯉十五尾)	1993
尾崎 良二	残照の四万十川	1993
尾崎 良二	春霞む久能山	1994

4室 大正の絵画

安井 曾太郎	婦人像	1912頃
中村 彝	静物	1915頃
中村 彝	髑髏のある静物*	1923
萬 鉄五郎	木の間よりの風景*	1918
岸田 劉生	斎藤与里氏像	1913
岸田 劉生	高須光治君之肖像	1915頃
岸田 劉生	麦二三寸*	1920
木村 莊八	壺を持つ女	1915頃
河野 通勢	自画像	1917
大沢 鉦一郎	大曾根風景	1919
大沢 鉦一郎	自画像	1919
宮脇 晴	自画像	1920

関根 正二	チューリップ	1918頃 寄託作品
村山	魚とインカの壺	1952
宮本 三郎	家族	1956
山口 薫	ボタン雪と騎手	1953
須田 国太郎	樹下	1954
香月 泰男	散歩	1953
福本 章	樹のある風景(馬事公園A)	1965
脇田 和	断層の人と鳥	1960

5室 20世紀の美術

〈絵 画〉

パブロ・ピカソ	青い肩掛けの女	1902
オーギュスト・ルノワール	青い服を着た若い女*	1876
ピエール・ボナール	子供と猫	1906頃
エドゥアール・ヴェイヤール	窓辺の女	1898
グスタフ・クリムト	人生は戦いなり	1903
アルベール・マルケ	ノートルダムの後陣	1902
ピエール・ボナール	にぎやかな風景	1913頃
ライオネル・ファイニンガー	夕暮れの海 I	1927
アンリ・マティス	待つ	1921-22
エルンスト・ルートヴィヒ・キルヒナー	グラスのある静物	1912
エルンスト・ルートヴィヒ・キルヒナー	日の当たる庭	1935
エミール・ノルデ	静物L(アマゾン、能面等)	1915
パウル・クレー	女の館	1921
ジョルジュ・ルオー	キリスト磔刑*	1939頃

サルバドール・ダリ	パッターディオのイタリア柱廊*	1937-38
ジョアン・ミロ	絵画	1925
ポール・デルヴォー	こだま	1943
マックス・エルンスト	ポーランドの騎士	1954
アントニ・タピエス	ひび割れた黒と白い十字架*	1976
アントニ・タピエス	コンポジション	1976
モーリス・ルイス	デルタ・ミュー	1960-61
フランク・ステラ	River of Ponds IV	1969

〈新収蔵作品〉

榎倉 康二	干涉(Story-No.49)	1992
根岸 芳郎	97-11-18	1997
今村 幸生	雷神図	1983
川島 理一郎	伎場の図	1925
伊藤 高義	岩山に生きる(百鬼夜行)	1993

〈彫刻・立体〉

ジョージ・シーガル	ロバート&エセル・スカルの肖像	1965
ルイズ・ニーヴェルソン	漂う天界	1959-66

6室 テーマ展 加藤豪

加藤 豪	奔馬	2001
加藤 豪	蘭	2001
加藤 豪	une Statue III'	2001
加藤 豪	une Statue IV'	2003

7・8室 新収蔵作品展

〈彫 刻〉

山本 豊	豊市	聴	1966頃
------	----	---	-------

〈版 画〉

磯見 輝夫	蝶	1980
磯見 輝夫	森へ	1984
磯見 輝夫	荒野	1985
磯見 輝夫	鳥の如く	1988
磯見 輝夫	春の誕生	1988
磯見 輝夫	東北紀行・空を駆ける	1990
磯見 輝夫	陽と影	2001

〈日本画〉

渡辺 幾春	少女(仮題)	制作年不詳
森脇 正人	遙	2002

〈彫 刻〉

ふじい 忠一	Untitled	1990
--------	----------	------

〈素 描〉

ふじい 忠一	Untitled	2002
ふじい 忠一	Untitled	2002
ふじい 忠一	Untitled	2002
ふじい 忠一	Untitled	2002
稲垣 考二	ラボルト	1971
稲垣 考二	胸像	1994

前室

中村 彝	静物	1915頃
山口 長男	庭	1935
熊谷 守一	鳥	1938

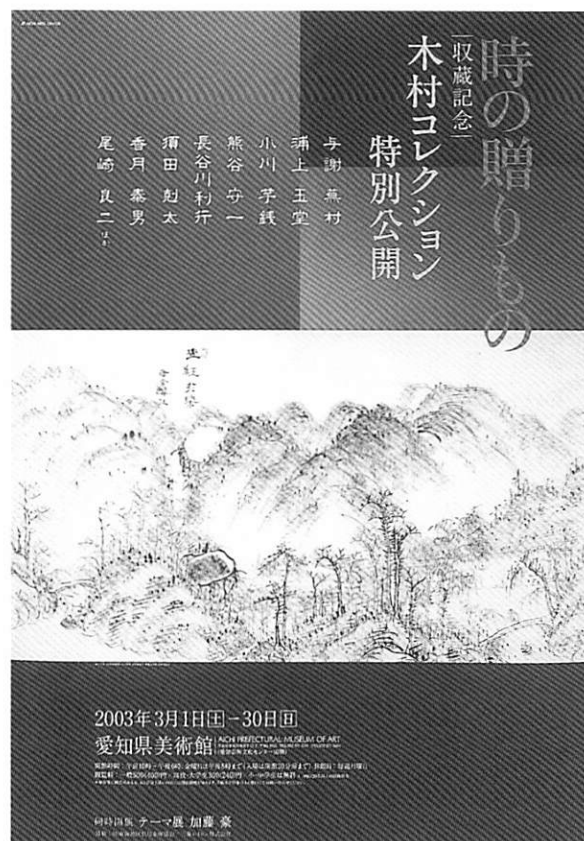
〈彫刻・立体〉

アレクサンダー・コルダー	ゴースト	1976
アレクサンダー・コルダー	片膝ついて	1944
オーギュスト・ロダン	歩く人	1900
加藤 豪	une Statue IV'	2003

屋外展示スペース

〈彫刻・立体〉

コルネリス・ジットマン	カリブの女	1983
アルナルド・ボモドーロ	飛躍の瞬間	1984
加藤 昭男	大地	1986
小田 襄	円柱の構造	1988
今井 瑾郎	大地	1992



小企画展(テーマ展示)

加藤豪 ALBINO STATUE #2

会 期 2003年3月1日～3月30日

会 場 愛知県美術館展示室 6

協 賛 (社)東海地区信用金庫協会

協 力 三菱レイヨン株式会社「アクリライト」

技術協力 株式会社フジワラ

3D制作 作石敏達

2001年度からこの地方の若手の現代作家を対象を絞ったテーマ展を行っているが、今回は名古屋在住の加藤豪を取り上げた。加藤は1964年に愛知県に生まれ、1989年に東京藝術大学絵画科油画専攻を卒業、その後同大大学院を修了して、愛知県で活動続ける作家である。世田谷美術館で行われた1997年の「デ・ジェンダリズム」展、2001年にイタリアのプラトにあるペッチ現代美術館での「先立未来」展など、国内外の重要な展覧会に出品し、評価が高まりつつある。

石の彫刻が知られた作家ではあったが、今回はあえて石を展示せず、石の作品から鋳造したアルミの作品と針金と木片などでネット状に構成した作品、さらには透明アクリル素材の作品の構成で、素材よりは造形フォルムを優先させる展示とした。アクリル素材については、三菱レイヨン株式会社から、彫刻の台座も含めて製品アクリライトの提供を受け、加工については株式会社フジワラの技術協力を得た。

併せて、作石敏達氏によって原型モデルから3Dのデータに起こされた彫刻のフォルムをコンピュータ上で彩色するという、鑑賞者参加型の展示も行い、好評を博した。

カタログ B5変形12頁

テキスト 拝戸雅彦

「加藤豪一

Une Statue は去勢され、交感され、解消される」

編集 拝戸雅彦

発行 愛知県美術館

出品作品

1

奔馬

2001年

ミクストメディア

156×126×70cm



2

蘭

2001年

ミクストメディア

220×115×113cm

3

une Statue III'

2001年

アルミニウム

113×107×60cm

4

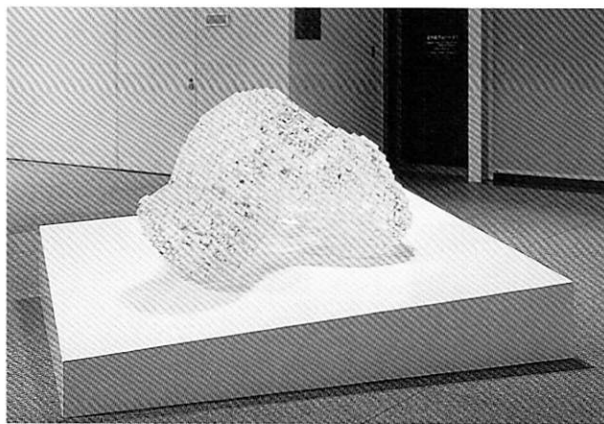
une Statue IV'

2003年

アクリル

124×115×76cm

いずれも作家蔵



《une Statue IV'》2003年

企画展

『大英博物館所蔵フランス素描展』

会 期 2002年4月26日（金）～6月30日（日）57日間
主 催 愛知県美術館／中日新聞社
後 援 ブリティッシュ・カウンシル／愛知県・岐阜県・三重
県・名古屋市各教育委員会
協 賛 東京海上
助 成 (財)アサヒビール芸術文化財団／(財)花王芸術・科学
財団
協 力 日本航空
観覧料 一般1,100円、高校・大学生800円、小・中学生500円
(団体・前売りは200円引き)
担当学芸員 栗田秀法、鯨井秀伸

内 容 出品点数：101点

世界有数の素描コレクションで知られる大英博物館は、優れたフランス素描の宝庫として知られている。この展覧会では、16世紀から18世紀までのフランス素描を、ブッサン、ヴァトー、ブーシェ、フラゴナールらの101点の作品で紹介。王宮がフォンテーヌブローからルーヴル、ヴェルサイユへと移るにつれて展開した趣味の変化を示すことに加え、フランス美術に特有の繊細な感覚と素描芸術の親密な魅力を紹介した。

展覧会カタログ A4判変形 (24.5×19.9cm) 203ページ
テキスト

16世紀

「フォンテーヌブロー派と素描」 越川倫明

17世紀

「フランス17世紀美術の展開と素描
ー王立絵画彫刻アカデミーを中心にー」 栗田秀法

18世紀

「18世紀フランス美術の展開と素描
ーロココ、雅宴、さまざまなジャンルー」 鯨井秀伸

作家解説

参考文献

所蔵番号・カタログ番号対照表

著者 栗田秀法／越川倫明／鯨井秀伸

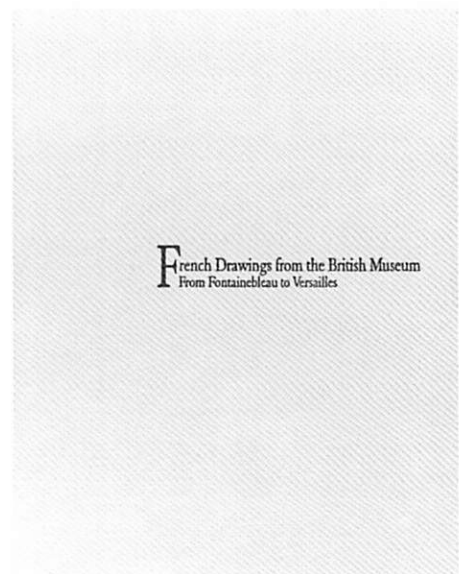
制作 コギト

発行 東京新聞

関連事業

記念講演会

第1回 5月11日（土）午後1時30分～午後3時



「18世紀フランス絵画と素描」

島本 浣（帝塚山学院大学教授）

第2回 6月1日（土）午後1時30分～午後3時

「16、17世紀フランス絵画と素描」

栗田秀法（愛知県美術館学芸員）

学芸員による展示説明会（ギャラリー・トーク）

第1回 5月21日（火）午前11時から 講師：鯨井

第2回 5月28日（火）午前11時から 講師：鯨井

第3回 6月14日（金）午後6時から 講師：栗田

第4回 6月18日（火）午前11時から 講師：栗田

親子で鑑賞を楽しむ会

第1回 4月27日（土）午前11時から 講師：藤島

第2回 5月11日（土）午前11時から 講師：藤島

先生方との鑑賞学習交流会

5月11日（土）午後3時30分から 講師：栗田

友の会会員のための特別鑑賞会

第1回 5月2日（木）午後5時から 講師：栗田

第2回 5月13日（月）午前10時から 講師：栗田

総入場者数 25,638人（1日平均入場者数：449.8人）

展覧会巡回先	会 期	総入場者数	1日平均
愛知県美術館	2002年4月26日～6月30日	25,638人	449.8人
国立西洋美術館	2002年7月9日～9月1日	64,023人	1,334人

主要関連記事

【新聞】

稲垣考二 「軽快な曲線美 横たわるネイレス」

『中日新聞』2002年5月22日朝刊

鯨井秀伸 「フィウミチーノで踊るナポリの水夫と女性」

『中日新聞』2002年6月5日朝刊

鯨井秀伸 「アラベスク装飾のパネル」

『中日新聞』2002年6月12日朝刊

栗田秀法 「伝わる創作段階の心」

『中日新聞』2002年6月19日朝刊

栗田秀法 「フランス素描展作品紹介」

『中日新聞』2002年6月26日朝刊



『韓国の色と光』展

会 期 2002年7月26日（金）～9月23日（月・祝）52日間
主 催 愛知県美術館／ソウル市立美術館／中日新聞社／共同
通信社
後 援 外務省／駐日大韓民国大使館 韓国文化院／駐名古屋
大韓民国総領事館／愛知県日韓親善協会連合会／愛知
県・岐阜県・三重県・名古屋市各教育委員会
助 成 国際交流基金／日韓文化交流基金
協 力 日本航空
観覧料 一般1,100円、高校・大学生800円、小・中学生500円
（団体・前売りは200円引き）
担当学芸員 牧野研一郎／坪戸雅彦

内 容 出品点数：計103点

2002年日韓国民交流年を記念して、2002年の春に開館したソウル市立美術館の全面的な協力により開催された展覧会である。「色彩」をキーワードとして、韓国の現代の美術を総合的に紹介した。展示作品はナムジュン・バイクなど国際的に活躍する作家の作品から、今日の絵画、立体造形、映像作品まで、幅広い分野のもの103点となった。また、展覧会にあわせて、文化情報センターでは近年進境著しい韓国映画のフェスティバルや実験的映像の紹介もおこなった。

展覧会カタログ A4 判変形（30.5×20cm） 164ページ

テキスト

「漢民族の色と光」 劉 俊相
「韓国の色彩文化」 鄭 時和
「線から色へ」 四方田犬彦

図版

事項解説

「韓国の色と光」参考文献

〈日韓文化交流史〉

作家略歴

出品目録

編集 愛知県美術館／大阪市立近代美術館建設準備室／岩手県
立美術館／共同通信社

制作 印象社

発行 愛知県美術館／大阪市立近代美術館建設準備室／岩手県
立美術館／共同通信社

関連事業

記念講演会



7月27日（土）午後1時30分～午後3時
「韓国の色と光」 劉俊相（ソウル市立美術館長）

学芸員による展示説明会（ギャラリー・トーク）

第1回 8月3日（土）午前11時から 講師：拝戸
第2回 8月10日（土）午前11時から 講師：拝戸
第3回 9月7日（土）午前11時から 講師：拝戸
第4回 9月21日（土）午前11時から 講師：拝戸

先生方との鑑賞学習交流会

7月27日（土）午後3時から 講師：拝戸

友の会会員のための特別鑑賞会

第1回 7月31日（水）午後5時30分から 講師：牧野
第2回 8月26日（月）午前10時30分から 講師：牧野

総入場者数：10,652人（1日平均入場者数：204.8人）

展覧会巡回先	会 期	総入場者数	1日平均
ATC ミュージアム	2002年11月24日～12月22日	3,027人	135人
岩手県立美術館	2002年4月12日～6月15日	9,822人	172人

主要関連記事

【雑誌記事】

拝戸雅彦 「韓国のアート事情」
—「気合」と「のり」で展覧会—
『中日新聞』2002年6月11日朝刊

千葉成夫 「交流で見えてくる韓国美術」
『中日新聞』2002年7月2日夕刊

無記名 「色と光でたどる韓国美術」
『中日新聞』2002年7月26日朝刊

牧野研一郎 「十長生図屏風」
『中日新聞』2002年8月13日朝刊

牧野研一郎 「金喚基 果てしなき歌」
『中日新聞』2002年8月14日朝刊

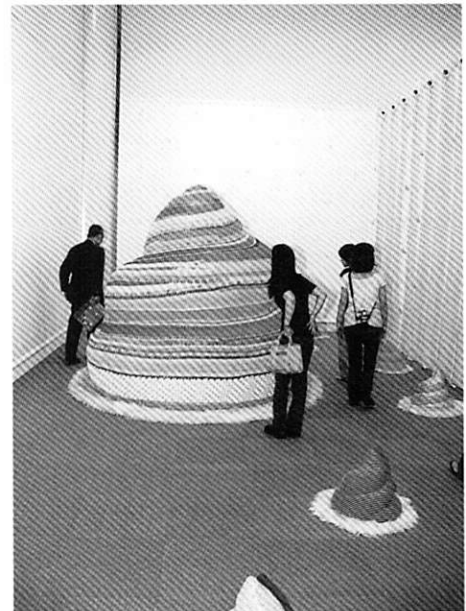
牧野研一郎 「ポジャギ」
『中日新聞』2002年8月15日朝刊

牧野研一郎 「陸根丙 使者のメッセージ」
『中日新聞』2002年8月16日朝刊

拝戸雅彦 「李漢洙 菩薩21」
『中日新聞』2002年8月17日朝刊

無記名 「希薄になる日韓の違い」
『朝日新聞』2002年8月21日朝刊

深萱真穂 「紹介相次ぐ韓国の現代美術」
『京都新聞』2002年8月31日朝刊



『ミロ展 1918-1945』

会 期 2002年10月4日（金）～12月1日（日）51日間
 主 催 愛知県美術館／中日新聞社／NHK名古屋放送局／
 NHK中部ブレイズ
 後 援 スペイン大使館／愛知県・岐阜県・三重県・名古屋市
 各教育委員会
 協 賛 東邦ガス株式会社／エプソン販売株式会社／株式会社
 東芝／トヨタ自動車株式会社
 協 力 日本航空
 観覧料 一般1,200円、高校・大学生900円、小・中学生600円
 （団体・前売りは200円引き）
 担当学芸員 村上博哉／古田浩俊

内 容 出品点数：計84点

スペインのバルセロナに生まれ、スペインとフランスで活動したジョアン・ミロ（1893-1983）は、20世紀の最も重要な画家のひとりである。この展覧会は、1918年の初個展から、独自の絵画様式を確立した1940年代半ばまでのミロの歩みをたどり、無垢な夢と喜びの画家として愛されてきた彼の芸術の実験的、攻撃的な側面を明らかにすることを狙いとした。日本初公開となったシュルレアリスム時代の代表作《アルルカンのカールニヴァル》（1924-25年、オルブライト＝ノックス美術館）をはじめ、世界11ヶ国から集められた代表的な絵画、水彩・素描、コラージュ、版画等84点を展示した。



展覧会カタログ A4判変形（29.5×24.5cm） 216ページ

「女性：古典と新しきものを結ぶ根源的なもの」

ローザ・マリア・マレット

「ジョアン・ミロ 1918-1945」 村上博哉

カタログ 村上博哉編

資料：展覧会出品作に関連する素描およびコラージュ

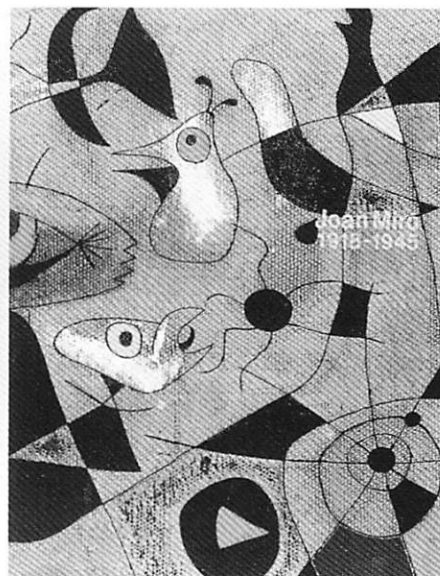
「戦前期日本における『超現実主義』とミロ

ー主要関連文献の紹介」 杉山悦子

編集 愛知県美術館

制作 コギト

発行 中日新聞社



関連事業

学芸員による展示説明会（ギャラリー・トーク）

第1回 10月17日（木）午前11時から 講師：村上

第2回 10月18日（金）午前11時から 講師：古田

第3回 10月31日（木）午前11時から 講師：村上

第4回 11月1日（金）午前11時から 講師：古田

小学生向け鑑賞会

第1回 10月20日（日）午前10時30分から 講師：藤島

第2回 10月20日（日）午後2時から 講師：藤島

第3回 11月2日（土）午前10時30分から 講師：藤島

第4回 11月2日（土）午後2時から 講師：藤島

先生方との鑑賞学習交流会

10月20日（日）午後1時30分から 講師：村上

友の会会員のための特別鑑賞会

第1回 10月15日（火）午前10時から 講師：村上

第2回 10月24日（木）午後5時30分から 講師：村上

総入場者数：83,084人（1日平均入場者数：1,629人）

展覧会巡回先	会 期	総入場者数	1日平均
世田谷美術館	2002年7月27日～9月23日	89,157人	1,748人
愛知県美術館	2002年10月4日～12月1日	83,084人	1,629人

主要関連記事

【新聞】

河合隼雄 「『ミロ展』に寄せて」

『中日新聞』2002年10月1日朝刊

大岡信 「ある日の東京のミロ」

『中日新聞』2002年10月3日朝刊

竹村純市郎 「ミロ展 詩情豊かに心の宇宙探る」（特集）

『中日新聞』2002年10月3日朝刊

竹村純市郎 「大地と空 ミロと出会う旅」（5回連載）

『中日新聞』2002年10月7、8、11～13日朝刊

（無署名） 「ミロ展 1918－1945」

『朝日新聞』2002年10月16日夕刊

村上博哉 「ミロ展 1918－1945」（5回連載）

『中日新聞』2002年10月19－23日朝刊

森口遙子 「夢と自由の画家 1

《鳥の翼から落ちたひとしずくの露...》」

『中日新聞』2002年10月31日夕刊

デービッド・エリオット

「夢と自由の画家 2 《ロバのいる野菜畑》」

『中日新聞』2002年11月1日夕刊

熊本マリ 「夢と自由の画家 3 《椰子の木のある家》」

『中日新聞』2002年11月2日夕刊

依田由利子 「夢と自由の画家 4

《スペインの踊り子（オレ）》」



『中日新聞』2002年11月5日夕刊
山口昌男 「夢と自由の画家 5
《アルルカンのカーニヴァル》」
『中日新聞』2002年11月6日夕刊
(無署名) 「独創的 ミロの世界に感嘆」
『中日新聞』2002年11月4日朝刊
竹村純市郎 「茶褐色の大地 創作の母」(グラフ)
『中日新聞』2002年11月9日夕刊
ヌリア・リコ
「ミロ展に寄せて 1 《絵画》」
『中日新聞』2002年11月13日朝刊
ジェフ・フレミング
「ミロ展に寄せて 2 《女、鳥、星》」
『中日新聞』2002年11月14日朝刊
アレックス・ワード
「ミロ展に寄せて 3 《スペインの踊り子》」
『中日新聞』2002年11月15日朝刊
イリス・ミュラー
「ミロ展に寄せて 4 《ロバのいる野菜畑》」
『中日新聞』2002年11月16日朝刊
イレネ・セン
「ミロ展に寄せて 5 《燃える森の中の人物》」
『中日新聞』2002年11月17日朝刊
(無署名) 「故加藤唐九郎氏三男の重高さん
ミロとの交流語る」
『中日新聞』2002年11月16日夕刊
浅野徹 「「ミロ展」と「ルドン展」
学芸員の企画力再認識」
『日本経済新聞』2002年11月28日夕刊
高階秀爾 「美の現在 若き日のピカソとミロ」
『朝日新聞』2002年12月4日夕刊

『中西夏之展』 広さと近さ ― 絵の姿形

会 期 2002年12月20日（金）～2003年2月23日（日）51日間

主 催 愛知県美術館／朝日新聞社

後 援 愛知県・岐阜県・三重県・名古屋市各教育委員会

助 成 財団法人地域創造

観覧料 一般1,000円、高校・大学生700円、小・中学生400円
(団体・前売りは200円引き)

担当学芸員 深山孝彰／木本文平

内 容 出品点数：計90点＋特別出品4点

中西夏之（1935年東京生まれ）は、1960年代から絵画をその発生に遡って追究し続け、現代絵画の先端を担う者と目されている。美術館における大規模な個展も4度目だが、今回は中西の最初期から未発表の最新作にわたる絵画を大観する初めての展覧会である。そして中西が考える「絵の姿^{すがた}形」を示すため、インスタレーション的作品《二箇所》の出品に加え、画布に竹弓を付した絵画をキャスター上で背中合わせにしたり、新作8点中5点をイーゼルに載せて展示したほか、《鏡の正三角儀》（1973）や《コンパクトオブジェ》（1968）を特別出品した。なお本展会期中に中西の東京藝術大学退官記念展「二箇所―絵画場から絵画衝動へ」および都内の2つのギャラリーで中西夏之展が開催され、より高い注目を受け意義を評価されることとなった。

展覧会カタログ A4判変形（30.0×22.6cm） 172ページ

テキスト

「紫と自己放下」 宇野邦一（立教大学教授）

「目で降り立つ不確かな居場所 ― 「絵画」の再生に向けて」

中村英樹（美術評論家／名古屋造形芸術大学教授）

「中西夏之を解さんとする～韻律的と思索的を中心に～」

原田平作（愛媛県美術館長）

「中西夏之 絵と、絵の姿形」 深山孝彰

カタログ

出品目録

略歴

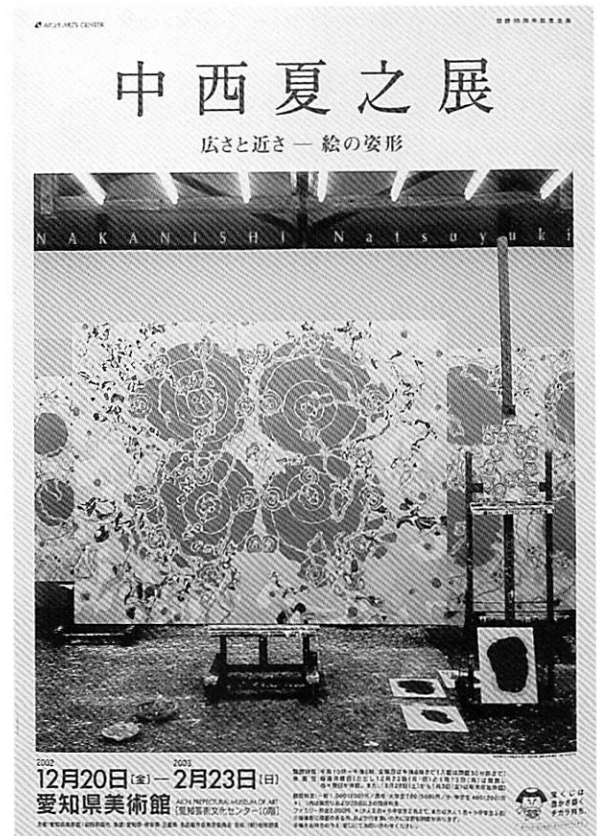
展覧会歴

文献（上山陽子編）

編集 深山孝彰／上山陽子（愛媛県美術館）

制作 印象社

発行 愛知県美術館／愛媛県美術館



関連事業

記念講演会

1月25日（土）午後1時30分～午後3時

「中西夏之の絵画」本江邦夫（多摩美術大学教授）

先生方との鑑賞学習交流会

1月25日（土）午後3時30分から 講師：深山

展示説明会（ギャラリー・トーク）

第1回 1月11日（土）午後2時から 講師：木本

第2回 1月18日（土）午前11時から 講師：深山

第3回 1月31日（金）午後2時から 講師：木本

第4回 2月7日（金）午後6時から 講師：深山

第5回 2月15日（土）午前11時から 講師：木本

第6回 2月18日（火）午後2時から 講師：深山



友の会会員のための特別鑑賞会

第1回 1月9日（木）午後5時30分～7時 講師：深山

第2回 1月14日（火）午前10時30分～12時 講師：深山

総入場者数：14,525人（1日平均入場者数：284.8人）

展覧会巡回先	会 期	総入場者数	1日平均
愛知県美術館	2002年12月20日～2003年2月23日	14,525人	284.8人
愛媛県美術館	2003年4月11日～5月18日	2,479人	77.5人

主要関連記事

【新聞】

深山孝彰 「現代絵画の到達点」

『朝日新聞』名古屋版朝刊

2002年12月17日（火）特集

平出 隆 「愛知県美術館 中西夏之展」

『聖教新聞』2002年12月29日（日）朝刊

持田則子 「画家 中西夏之展」

『中日新聞』2003年1月11日（土）夕刊

田中三蔵 「立ち止まらぬ『幸福な前衛』

中西夏之の四つの展覧会」

『朝日新聞』2003年1月23日（木）夕刊

Robert Reed, Nakanishi retrospective shows artist is still lighting
our lives

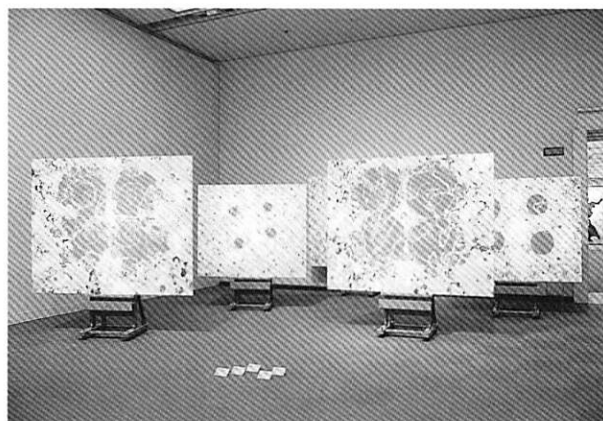
THE DAILY YOMIURI January 23, 2003

井出和子（共同通信）

『愛媛新聞』 2003年2月5日（水）朝刊

『北國新聞』 2003年2月5日（水）朝刊

『四国新聞』 2003年2月9日（日）朝刊



『秋田さきがけ』2003年2月10日（月）朝刊

『河北新報』2003年2月16日（日）朝刊

『信濃毎日新聞』2003年2月18日（火）朝刊

太田垣 實 「絵画の磁場の美しい陽炎 中西夏之展」

『京都新聞』2003年2月8日（土）朝刊

藤井一人 「『中西夏之展』／『リチャード・ゴーマン展』

いま、現代絵画は美しい」

『公明新聞』2003年3月25日（火）朝刊

【インターネット展評】

南 雄介 「中西夏之のペンタグラム」

DNP Museum Information Japan

お奨め展覧会01.15

木戸英行 「愛知県美術館 中西夏之展」

DNP Museum Information Japan

お奨め展覧会01.15

【逐次刊行物】

深山孝彰 「中西夏之展 広さと近さ ― 絵の姿形」

『A A C AICHI ARTS CENTER』35、2003年1月

中村英樹 ART CLIP⑥「中西夏之の『絵画』について」

『NZ・ART&DESIGN NEWS』

vol.017-JAN.1,2003

名古屋造形芸術大学、名古屋造形芸術短期大学

松浦寿夫 「中西夏之展 クアトロ $2 \times 2 = 2 + 2$ 」

『美術手帖』834、2003年5月号

山田 諭 「REVIEW 中西夏之展」『芸術批評誌 リア』2、

2003年4月25日

移動美術館

教育普及活動の一環として、名古屋地域から遠隔にある県内各地に所蔵作品を移動展示し、併せて講演会などの事業を行う移動美術館を年1回開催している。これまで7回し、本年度は田原町で開催した。

- 第1回 1995年度 南知多町総合体育館・サブアリーナ
- 第2回 1996年度 足助町トレーニングセンター
- 第3回 1997年度 渥美町郷土資料館
- 第4回 1998年度 奥三河総合センター体育館（設楽町）
- 第5回 1999年度 吉良町農村環境改善センター
- 第6回 2000年度 新城文化会館
- 第7回 2001年度 立田村総合体育館

名称：愛知県美術館 平成14年度 移動美術館
「美術の楽しさおしえます」
主催：愛知県美術館、財団法人愛知県文化振興事業団、高浜市、高浜市教育委員会、高浜市やきものの里かわら美術館
会期：平成14年11月21日（木）～平成15年1月19日（日）（45日間）
会場：高浜市やきものの里かわら美術館
観覧料：無料
担当学芸員：村田真宏、古田浩俊、栗田秀法

観覧者数：3,671人

展示内容および展示点数：
明治から現代の油彩画に加え、現代の立体造形作品をまとめて展示。出品点数57点。

梅原 龍三郎	横臥裸婦	1908
岸田 劉生	高須光治君之肖像	1915
佐伯 祐三	自画像	1917
小出 楯重	蔬菜静物	1925
古賀 春江	夏山	1927
村井 正誠	ゴルフジュアンの船	1929
岡 鹿之助	窓	1949
鬼頭 鍋三郎	二人のバレリーナ	1952
山口 薫	ボタン雪と騎手	1953
香月 泰男	散歩	1953
桂 ゆき	人と魚	1954
鳥海 青児	うずくまる	1954



森 芳雄	女たち	1954
金山 康喜	静物	1956
瑛九	黄色い花	1957
オノサト・トシノブ	三つの黒	1958
山田 正亮	Work B 182	1958
難波田 龍起	萌	1961
牛島 憲之	埋れる舟	1962
白髪 一雄	作品	1963
荻須 高德	サンドニ	1964
麻生 三郎	胴体と頭と電球	1964
小磯 良平	婦人像	1965
三尾 公三	Fiction Space (x)	1974
上田 薫	なま玉子G	1976
元永 定正	しろいひかりのあか	1982
宇佐美 圭司	ビック・パン	1987
百瀬 寿	Square-NE XIV:Twelve Stripes	1987
北川 民次	瀬戸十景 表紙	1937
北川 民次	瀬戸十景 窯小屋	1937
北川 民次	瀬戸十景 土堀場	1937
北川 民次	瀬戸十景 煙突のある風景	1937
北川 民次	瀬戸十景 夜の工場	1937
北川 民次	瀬戸十景 工場のなか	1937
北川 民次	瀬戸十景 ろくろを廻す男	1937
北川 民次	瀬戸十景 山の中の窯場	1937
北川 民次	瀬戸十景 窯入れ	1937
北川 民次	瀬戸十景 窯焼き	1937
北川 民次	瀬戸十景 瀬戸市街	1937
北川 民次	メキシコの女	1937 c .
北川 民次	メキシコの男	1948
北川 民次	浴み	1957
北川 民次	戯れるシュブリペディウム	1961
北川 民次	姉弟を抱く母	1970
北川 民次	マーケットの女たち	1970
北川 民次	瀬戸の母子像	1970
北川 民次	水浴する二人の女	1970
北川 民次	かいうの前の抱擁	1971
北川 民次	二匹のバッタと親子	1971
北川 民次	男女の群れ	1971
榎尾 正次	まるい穴いっぱい	1965
久野 真	銅鉄による作品 #272	1975
庄司 達	白い布による空間'68-2	1979 (1968)
北山 善夫	言葉が輝くとき	1987
土谷 武	植物空間	1990
秋山 陽	Pho II	1990

教育普及行事

記念講演会

「美術の楽しみ」長谷川三郎（愛知県美術館長）

11月24日（日）午後2時から

3階講義室

ギャラリー・トーク（展示解説）：

愛知県美術館学芸員が会場で展示作品の解説

一般向け

11月30日（土）、12月14日（土）、1月12日（日）

いずれも午後2時から3時まで

学校向け

高浜市内の小・中学生の学校団体を中心に実施。

作品の収集

1 収集方針

- ・ 20世紀の優れた国内外の作品及び20世紀の美術動向を理解する上で役立つ作品
- ・ 現在を刻印するにふさわしい作品
- ・ 愛知県としての位置をふまえた特色あるコレクションを形成する作品
- ・ 上述の作品・作家を理解する上で役立つ資料

2 収集委員会の開催

- ・ 第1回収集委員会 2002年11月8日

3 収集の状況

- ・ 5点の作品を購入し（内4点は平成11年度収集委員会承認作品）、16点の作品寄贈と2点の管理換え（社会活動推進課）を受けた。
- ・ 木村定三氏から近世近代の作品140点、古美術品16点、考古工芸資料177件の寄贈を受けた（前年度寄贈作品11点とともに「木村定三コレクション」と命名）。
また、氏所蔵の3件（6点）の作品が当館を公開契約館として登録美術品に指定された。

美術品等収集状況

種 別	2002年度			2003年3月末現在 所蔵総点数 ()内は旧文化会館 からの管理換え	
	購 入	寄 贈	管理換え		
	点 数	点 数	点 数		
日本画	1	1	0	220	(149)
洋 画	3	1	1	542	(393)
立 体	1	0	1	115	(29)
版 画	0	7	0	443	(102)
水彩・素描	0	7	0	474	(309)
インスタレーション	0	0	0	2	(0)
工 芸	0	0	0	50	(50)
書	0	0	0	20	(20)
資 料	0	0	0	12	(4)
小 計	5	16	2	1,878	(1,056)
藤井達吉 コレクション	—	—	—	1,460	
木村定三 コレクション	—	156	—	167	<177>*1
総 計	5	172	2	3,505	(1,056) <177>

※表の注記
愛知県美術館の所蔵作品は、愛知県文化会館美術館から移管された作品と愛知芸術文化センター愛知県美術館のために1987年4月以降収集された作品から成っている。藤井達吉コレクションとは、愛知県文化会館美術館の開館時（1955年）に藤井達吉氏により寄贈された同氏の作品および同氏が収集した絵画・工芸などを指す。また、木村定三コレクションとは、2001年度から木村定三氏により寄贈された同氏が収集した絵画・工芸などを指す。

*1 絵画・彫刻等167点 < > 内は、中国考古工芸資料等177件

2002年度新収蔵作品

愛知県美術館では、コレクションの充実をはかるべく継続して収集を続けています。1988年の美術品等取得基金の設置以来、コレクション充実に努めてまいりました。その間多くの団体や個人の方々から作品の寄贈や資金の援助を受けております。

今年度の収集にあたり、森脇正人氏、秋田利松氏、ふじい忠一氏、稲垣孝二氏、服部修身氏、磯見輝夫氏、そして愛知県美術館友の会よりご寄贈いただきました。

今後とも県民の皆様の温かいご理解ご支援をお願いいたします。

[凡例]
・各作品は、JJ (日本画)、JO (洋画)、JP (日本の版画)、JD (日本の水彩・素描)、FO (海外の絵画)、FS (海外の立体)、FP (海外の版画)、FI (海外のインスタレーション)、FM (海外の資料) に分けられたうえで、作家姓の五十音順 (日本の作品) ないしはアルファベット順 (海外の作品) に配列され、同一作家による複数の作品については、制作年、次いで作品名の五十音ないしはアルファベットの順もしくはカタログ・レゾネの番号順に配されている。
・各作品に係る収蔵事項は以下の通り：
作家名 生歿年
作品名
制作年 技法・材質 寸法 (タテ×ヨコ (×奥行き))
初出の展覧会
収蔵種別 (購入、寄贈等) 所蔵番号

渡辺幾春 1895—1976

少女 (仮題)

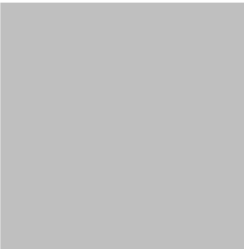
Girl
制作年不詳
紙本着色
142.0×170.0
inscribed lower left:
JJ200200001000



今村幸生 1935—

雷神図

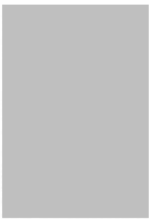
The God of Thunder
1983年
油彩、画布
300.0×300.0
五つの発熱'83展
三重県立美術館県民ギャラリー (1983)
JO200200000000



榎倉康二 1942—1995

干渉 (Story-No.49)

Interference (Story-No.49)
1992年
アクリル、綿布／木
259.0×193.9
個展、桜画廊、名古屋 (1992)
JO200200001000



ふじい忠一 1941—

Untitled

Untitled
1990年
杉
222.0×230.0×74.0
「A Primal Spirit, Ten Contemporary Japanese Sculptors」
ハラ・ミュージアムアーク、
群馬 (1990-91)
JS200200001000



根岸芳郎 1951—

97-11-18

97-11-18
1997年
アクリル、画布
200.0×300.0
JO200200002000



森脇正人 1950—

遙

Far Off
2002年
紙本膠彩
175.0×400.0
「悠久のまなざしー森脇正人展」
高島屋、東京、名古屋 (2002)
森脇正人氏寄贈
JJ200200002000



川島理一郎 1886—1971

伎場の図

Casino de Paris

1925年
油彩、画布
65.2×53.3
inscribed lower left: kawashima
国画創作協会第5回展（1926）
秋田利松氏寄贈
JD200200004000



ふじい忠一 1941—

Untitled

Untitled

2002年
樹脂絵具、紙
79.0×109.5
inscribed lower right: 2002 Fujii
inscribed lower left: 忠
藤井忠一氏寄贈
JD200200004000



ふじい忠一 1941—

Untitled

Untitled

2002年
樹脂絵具、紙
57.5×88.5
inscribed lower left: 忠
inscribed lower right: 2002 Fujii
藤井忠一氏寄贈
JD200200001000

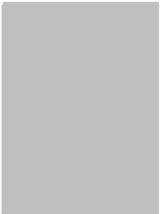


ふじい忠一 1941—

Untitled

Untitled

2002年
樹脂絵具、紙
109.5×79.0
inscribed lower right: Fujii
inscribed lower left: 2002 忠
藤井忠一氏寄贈
JD200200005000



ふじい忠一 1941—

Untitled

Untitled

2002年
樹脂絵具、紙
79.0×109.5
inscribed lower left: 2002 忠
inscribed lower right: Fujii
藤井忠一氏寄贈
JD200200002000

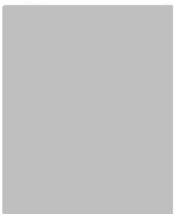


稲垣考二 1952—

ラボルト

Laborde

1971年
木炭、紙
65.0×49.4
稲垣考二氏寄贈
JD200200006000



ふじい忠一 1941—

Untitled

Untitled

2002年
樹脂絵具、紙
79.0×109.5
inscribed lower right margin: 2002 Fujii
inscribed lower left margin: 忠
藤井忠一氏寄贈
JD200200003000



稲垣考二 1952—

胸像

Bust

1994年
鉛筆、紙
109.0×79.0
服部修身氏寄贈
JD200200007000



磯見輝夫 1951—

蝶

Butterfly

1980年
木版、和紙
70.0×144.0
inscribed lower right margin : 11/20
磯見輝夫氏寄贈
JP200200001000



磯見輝夫 1951—

春の誕生

The Birth of the Spring

1988年
木版、和紙
76.0×116.5
inscribed lower right margin : '88 T.isomi
愛知県美術館友の会寄贈
JP200200005000



磯見輝夫 1951—

森へ

To the Forest

1984年
木版、和紙
69.5×120.0
inscribed lower right margin : '84 T.isomi
磯見輝夫氏寄贈
JP200200002000



磯見輝夫 1951—

東北紀行・空を駆ける

Travelogue of the Northeast: Soaring through the Air

1990年
木版、和紙
75.0×119.0
inscribed lower right margin : '90 T.isomi
磯見輝夫氏寄贈
JP200200006000



磯見輝夫 1951—

荒野

Wilderness

1985年
木版、和紙
48.5×71.0
inscribed lower right margin : '85 T.isomi
磯見輝夫氏寄贈
JP200200003000



磯見輝夫 1951—

陽と影

Sunlight and Shadow

2001年
木版、和紙
59.5×94.5
inscribed lower right margin : '01 T.isomi
磯見輝夫氏寄贈
JP200200007000



磯見輝夫 1951—

鳥の如く

Like a Bird

1988年
木版、和紙
80.0×119.0
inscribed lower right margin : '88 T.isomi
愛知県美術館友の会寄贈
JP200200004000



伊藤高義 1926—

岩山に生きる(百鬼夜行)

Living in Rocky Mountain (Veritable Pandemonium)

1993年
油彩、画布
132.0×194.3
inscribed lower left : 93 Takayoshi
第78回二科展 (1993)
社会活動推進課より管理換え
JO200200005000



山本豊市 1899－1987

聴

Listen

1966年頃

ブロンズ

29.0×13.3×18.0

社会活動推進課より管理換え

JS200200002000



保存・修復

作品環境を調査し、その維持管理の合理的な方法について模索を続けている。この年度は特に寄託・寄贈が多量であったため、その保存環境に重点をおいた。

また全国美術館会議災害時情報ネットワーク東海ブロック幹事館として、県内外におけるネットワーク活動に参加した。

2002年度の活動概要

- ア 所蔵作品の状態調査
 - ・状態調査作品 68点
- イ 所蔵作品の保存処置等
 - ・保存処置作品 6点
 - ・新規額及び保存箱・付属品の製作 24点
- ウ 保存環境の整備
 - ・害虫発生時対応の準備（低酸素処理方法の準備、愛知県陶磁資料館と共同作業）

- エ 借用作品の点検とその維持管理
- オ 緊急時の対応を目的としたネットワークへの参加
 - ・全国美術館会議災害時情報ネットワーク東海ブロック幹事館ブロック内加盟館による会合の開催（11/29）
 - 「大災害時における連絡、救援体制について」
 - 災害時の連絡方法・初動動作・自治体の防災体制などについて意見交換した。
- カ 他美術館所蔵作品の保管
 - 三重県立美術館の改築工事に伴い、同館の所蔵作品の一部を保管した。

2002(平成14)年度 状態調査委託作品一覧

No.	作家名	作品名	制作年	技法材料	調査目的	調査者
1	与謝蕪村	(重文) 富岳列松図	ca.1770-1777	(紙本墨画淡彩)	保存計画	J.C.P 注1
2	与謝蕪村	紫陽花とほととぎす	ca.1770-1777	(紙本墨画淡彩)	保存計画	J.C.P
3	与謝蕪村	若竹図	ca.1770-1777	(紙本墨画淡彩)	保存計画	J.C.P
4	浦上玉堂	(重文) 山紅於染図	1818	(絹本膠彩)	保存計画	J.C.P
5	浦上玉堂	(重文) 秋色半分図	1818	(紙本墨画淡彩)	保存計画	J.C.P
6	浦上玉堂	(重文) 酔雲醒月図	1818	(紙本墨画淡彩)	保存計画	J.C.P
7	浦上玉堂	(重文) 山水図	1818	(紙本墨画)	保存計画	J.C.P
8	浦上玉堂	(重文) 五言絶句	1818	(紙本墨画)	保存計画	J.C.P

注1 特定非営利法人 ジェー・シー・ピー（文化財保存支援機構・Japan Conservation Project）JCPは文化財の保存修復を支援するために2001年に設立されたNPO法人である。

2002(平成14)年度 保存処置作品一覧

No.	作家名	作品名(技法材料)	種別	処置前の状態	処置内容	処置者
1	福田恵一	雄図 (絹本膠彩)	日本画	絵具層の剥離、剥落	剥落留め（膠）	J.C.P (館内処置)
2	福田恵一	信長上洛の図 (絹本膠彩)	日本画	絵具層の剥離、剥落	剥落留め（膠）	J.C.P (館内処置)
3	福田恵一	主計頭清正 (絹本膠彩)	日本画	絵具層の剥離、剥落	剥落留め（膠）	J.C.P (館内処置)
4	村松乙彦	観船 (絹本膠彩)	日本画	絵具層の剥離、剥落	剥落留め（膠・生麩糊）	J.C.P (館内処置)
5	丹羽和子	朱い糸 (画布・油彩)	洋画	絵具層の剥離	剥落留め・補彩	浅井千晴 (館内処置)
6	加藤金一郎	HEKEBEKE (画布・油彩)	洋画	絵具層の剥離・剥落 キャンパスのゆるみ	剥落留め ルースライニング	浅井千晴 (館内処置)

2002(平成14)年度 新規額、保存箱製作作品一覧

No.	作家名	作品名(技法材料)	種別	製作物 (理由)
1	ふじい忠一	Untitled (紙・グワッシュ)	素描	新規額・マット装
2	ふじい忠一	Untitled (紙・グワッシュ)	素描	新規額・マット装
3	ふじい忠一	Untitled (紙・グワッシュ)	素描	新規額・マット装
4	ふじい忠一	Untitled (紙・グワッシュ)	素描	新規額・マット装
5	ふじい忠一	Untitled (紙・グワッシュ)	素描	新規額・マット装
6	磯見輝夫	蝶 (紙・木版)	版画	新規額・マット装
7	磯見輝夫	森へ (紙・木版)	版画	新規額・マット装
8	磯見輝夫	荒野 (紙・木版)	版画	新規額・マット装
9	磯見輝夫	鳥の如く (紙・木版)	版画	新規額・マット装
10	磯見輝夫	春の誕生 (紙・木版)	版画	新規額・マット装
11	磯見輝夫	東北紀行・空を駆ける (紙・木版)	版画	新規額・マット装
12	磯見輝夫	陽と影 (紙・木版)	版画	新規額・マット装
13	稲垣考二	ラポルト (紙・木版)	素描	新規額・マット装
14	宮脇晴	髪を編む (紙・コンテ)	素描	マット・額の改良
15	宮脇晴	木馬に乗る子 (紙・鉛筆)	素描	マット・額の改良
16	加藤金一郎	HEKEBEKE (画布・油彩)	洋画	額サイズの調整

所蔵作品の貸出

貸出状況

内外の美術館等からの所蔵作品の貸出要請に対して、展覧会の内容とその意義、当該作品の保存状態、所蔵作品展の展示計画などを十分に考慮し、愛知県美術館所蔵作品貸出要領に則って作品の貸出を行った。

貸出の概要

分野		点数
国内作家	日本画(JJ)	30点
	洋画(JO)	32点
	水彩・素描(JD)	26点
	立体(JS)	3点
	資料(JM)	0点
藤井達吉コレクション		0点
海外作家	絵画(FO)	6点
	水彩・素描(FD)	0点
	立体(FS)	2点
	版画(FP)	0点
計（48件分）		99点

貸出作品一覧

No.	作家名	作品名	展覧会名	貸出期間	会場
1	パウル・クレー	蛾の踊り	パウル・クレー展	2002.1.7-4.6	Hayward Gallery (London)
2	安田靉彦	月の兎	安田靉彦－歴史画再発見	2002.1.31-4.9	平塚市美術館
3	平山郁夫	楼蘭の遺跡（昼）	わが心の旅路－平山郁夫展	2002.2.15-4.2	名都美術館
4	オーギュスト・ロダン ジョルジュ・ミンヌ	歩く人 聖遺物箱を担ぐ少年	ウィーン分離派展	2001.10.29-2002.4.26	島根県立美術館
5	加藤東一 鬼頭鍋三郎	伝承 春装譜	春－歌会始御題によせて	2002.3.1-4.10	式年遷宮記念神宮美術館
6	アンディ・ウォーホル	レディース・アンド・ジェントルマン	ポップ!ポップ!!ポップ!!!	2002.3.29-5.28	茨城県近代美術館
7	上村松篁	玄鶴	上村松篁展	2002.4.3-5.17	京都市美術館
8	川島理一郎	フィリピン服の女	川島理一郎展	2001.12.20-2002.6.1	足利市立美術館
9	藤島武二 藤島武二 藤島武二 藤島武二 藤島武二	縁日で 池と堤 オリエントの模様 朝鮮服の女 朝鮮服の女（玉手箱の習作）	藤島武二展	2002.3.29-8.9	ブリヂストン美術館 石橋美術館
10	パウル・クレー	女の館	パウル・クレー展	2002.4.13-8.21	岩手県立美術館 三重県立美術館
11	稗田一穂 稗田一穂	孔雀と女 雨晴海岸	稗田一穂展	2002.4.8-6.4	富山県立近代美術館

No.作家名	作品名	展覧会名	貸出期間	会場
12 池田遙邨 小茂田青樹	稲掛け 漁村早春	田園詩人ー野口雨情生誕120年記念ー描かれた雨情の詩心	2002.4.12-6.7	茨城県天心記念五浦美術館
13 野間仁根	松原湖畔よりハヶ岳を望む	松本市美術館開館記念特別展ー山笑ふー描かれた日本・世界の山々ー	2002.4.13-6.25	松本市美術館
14 福田恵一 福田恵一 福田恵一 村松乙彦 鶴田吾郎	雄図 信長上洛の図 主計頭清正 観船 女性（台湾高砂族）	美術と戦争	2002.5.14-7.26	姫路市立美術館
16 里見勝蔵 里見勝蔵 里見勝蔵	女 画家の妻（婦人像） 風景（ベルヌイユの村）	ヴラマンク・里見勝蔵・佐伯祐三展	2002.6.7-9.18	安田火災東郷青児美術館 ひろしま美術館
17 岡田三郎助	山県有朋像（習作）	岡田三郎助と女流画家	2002.6.28-8.27	三岸節子記念美術館
18 熊谷守一	からす	へたも絵のうち 展覧会 熊谷守一ものがたり	2002.6.29-9.10	茨城県近代美術館
19 アンリ・マティス ジョアン・ミロ	待つ 絵画	（借用先代替作品） ミロ展 1918-1945	2002.7.18-12.12 2002.7.18-12.4	池田20世紀美術館 世田谷美術館 愛知県美術館
20 福田恵一 福田恵一 福田恵一 福田恵一 福田恵一	主計頭清正 雄図 信長上洛の図 大山守 ガラス	日本画の異彩三人展ー福田恵一・猪原大華・和高節二ー	2002.7.26-10.9 2002.7.26-10.9 2002.7.26-10.9 2002.8.1-10.9 2002.8.1-10.9	広島県立美術館
21 川合玉堂	湖畔晩婦	川合玉堂展	2002.8.22-10.9	富山県水墨美術館
22 後藤純男	春映法隆寺	後藤純男展	2002.8.23-10.23	北海道立近代美術館
23 マックス・エルンスト	ポーランドの騎士	ナイーヴな絵画	2002.8.30-10.16	福岡市美術館
24 エドゥアール・ヴェイヤール	窓辺の女	モネからセザンヌへー印象派・後期印象派展ー	2002.8.29-11.27	埼玉県立美術館 秋田県立近代美術館
25 速水御舟	西郊小景	郷土ゆかりの画家 速水御舟の生涯ー兄弟子今村紫紅との出会いー	2002.9.4-11.7	茂原市立美術館・郷土資料館
26 伊勢正義 舟越保武	青年 シオン	東北の作家と風土	2002.9.13-11.12	井原市立田中美術館

No.作家名	作品名	展覧会名	貸出期間	会場
27 小山正太郎 浅井忠	西船堀村 八王子付近の村	小山正太郎と「書は美術ナラス」の時代	2002.9.23-11.27	新潟県立近代美術館
28 小磯良平	室内 (A)	小磯良平回顧展	2002.9.27-12.12	神戸市立小磯記念美術館
29 ラウル・デュフィ 里見勝蔵	サンタドレスの浜辺 風景 (ベルヌイユの村)	印象派の故郷、ノルマンディー地方の風景	2002.10.8-2003.2.27	浜松市美術館 下関市立美術館 尾道市立美術館
30 アメデオ・モディリアーニ	カリアティード	Modigliani and the Artists of Montparnasse	2002.9.22-2003.10.3	Albright-Knox Art Gallery, Buffalo Kimbell Art Museum in Ft. Worth, Texas
31 片岡球子 片岡球子 片岡球子 三岸節子 片岡球子 片岡球子	乙女 足利家の人々 面構 (国貞・種彦) 南国の花 牡丹 リヴェー (朝陽の石狩川)	片岡球子・三岸節子展	2002.10.15-12.3	尾西市三岸節子記念美術館
32 川崎千虎 川崎千虎	佐々木高綱被甲図 頼朝朽木隠れ	近代歴史画と羽石光志展	2002.10.9-2003.1.21	栃木県立美術館
33 宮脇晴 宮脇晴 宮脇晴 宮脇晴 宮脇晴 宮脇晴 宮脇晴 宮脇晴	自画像 月と雲と山 樹 手 木馬に乗る子 髪を編む お手玉の少女 子等遊ぶ谿	生誕100年 宮脇晴展	2002.10.25-12.19	知多市歴史民俗博物館
34 原精一	野外の人々	原精一展	2002.10.21-2003.1.14	平塚市美術館
35 村井正誠 村井正誠 須田寿	CITE B 天使 寒村	中村彝賞記念 村井正誠 須田寿 展	2002.11.15-2003.1.29	茨城県近代美術館
36 近藤文雄 近藤文雄 近藤文雄 近藤文雄 近藤文雄	あいつ 裁き さらしもの (3) M氏の肖像 6人の盲人たち	近藤文雄展	2002.11.14-12.5	豊川地域文化広場 桜ヶ丘ミュージアム

No.作家名	作品名	展覧会名	貸出期間	会場
36 近藤文雄	連なるとみえて			
37 若林奮 若林奮	435-7 435-10	現代日本の水彩表現	2002.12.2-2003.1.29	渋谷区立松濤美術館
38 中西夏之 中西夏之	M字型 II 紫・むらさき XIX	中西夏之展	2002.12.20-2.23	愛知県美術館
39 脇田和	黄色の鳥	鳥と語る一詩魂の画家 脇田和展	2002.12.19-2003.2.15	石川県立美術館
40 斎藤義重 斎藤義重	作品 ゼロイスト	斎藤義重展	2003.1.8-5.9 2003.1.8-	岩手県立美術館
41 高畑郁子	聖界	高畑郁子展	2003.1.29-3.18	豊橋市美術博物館
42 坂井範一 坂井範一 坂井範一 坂井範一 坂井範一 坂井範一 加藤金一郎 丹羽和子 丹羽和子	浴後 古い物語A 下絵1 源氏物語帯木（雨夜の品定め）2 源氏物語柏木 1 源氏物語柏木 3 源氏物語宿木 1 H E K E B E K E 占う女 朱い糸	色と形と冒険 坂井範一とゆかりの作家展	2003.2.5-3.26	美濃加茂市民ミュージアム
43 郷倉和子	気	梅花の調べー郷倉和子展	2003.2.11-3.26	富山県水墨美術館
44 近藤弘明 川崎千虎 平松礼二	桜光冥夜 八重桜 桜	心に映るさくら展	2003.3.11-4.15	豊川地域文化広場 桜ヶ丘ミュージアム
45 青木繁	太田の森	青木繁と近代日本のロマンティズムー異文化交渉の水脈	2003.3.14-	東京国立近代美術館
46 アンリ・マティス	マラルメ詩集	ピカソとマティス	2003.3.25-5.8	埼玉県立近代美術館
47 杉本健吉 杉本健吉 杉本健吉	宇治川 正倉院 阿修羅像	大和を描く 杉本健吉展	2003.3.26-5.15	奈良県立美術館
48 舟越桂	肩で眠る月	舟越桂展	2003.3.26-	東京都現代美術館

1. 出版・発行

2002年度の刊行物

- ・所蔵作品選
『愛知県美術館の名品150』
B5判変形 (25×19cm) 216ページ
編集 古田浩俊、高橋秀治
発行 愛知県美術館／(財)愛知県文化振興事業団
- ・所蔵作品展に関するもの
 - 第Ⅰ期・前期 展示品リスト A4判
 - 第Ⅰ期・後期 展示品リスト A4判
 - 第Ⅱ期・前期 展示品リスト A4判
 - 第Ⅱ期・後期 展示品リスト A4判
 - 第Ⅲ期 展示品リスト A4判
- テーマ展示「加藤 豪展」パンフレット
『G O K A T O ALBINO STATUE #2』 B5判変形12頁
「時の贈りもの 収蔵記念 木村コレクション特別公開」カタログ
『木村定三コレクション選』 A4判74頁
特集展示「平成13年度 新収蔵作品展」目録
『2002年度新収蔵作品 NEW Acquisitions』 A4判6頁
ミュージアム ワークシート A4判三折
《にぎやかな風景》ピエール・ボナール
《絵画》ジョアン・ミロ
- ・企画展カタログ (各企画展の項を参照)
- ・企画展鑑賞の手引き等
 - 《大英博物館所蔵フランス素描展》
鑑賞ガイド (全体と主要テーマの解説) A4判2頁
 - ・《韓国の色と光》
鑑賞ガイド (全体と主要テーマの解説) A4判4頁
 - ・《ミロ展》
音声ガイド (主要作品25点の解説)
 - ・《中西夏之展》
鑑賞ガイド (主要な作品シリーズと展示コーナー解説) A4判3折



2. 講演会・講座・シンポジウム等

《大英博物館所蔵フランス素描展》

演題、講師名	開催日、聴講者数
「18世紀フランス絵画と素描」 島本 澁 (帝塚山学院大学教授)	5月11日 (土) 80人
「16、17世紀フランス絵画と素描」 栗田 秀法 (愛知県美術館主任学芸員)	6月1日 (土) 48人

《韓国の色と光》展

「韓国の色と光」 劉 俊相 (ソウル市立美術館長)	7月27日 (土) 70人
------------------------------	------------------

《中西夏之展》

「中西夏之の絵画」 本江 邦夫 (多摩美術大学教授)	1月25日 (土) 82人
-------------------------------	------------------

《特別講演会》(名古屋アメリカンセンターとの共催事業)

「シュルレアリスムとアメリカ現代美術 —1939年ニューヨーク世界博覧会出品 《ドリーム・オブ・ヴィーナス》とその影響を通して」 ルイス・C. カーチャー (キーン大学美術史准教授)	5月29日 (水) 71人
--	------------------

《木村定三コレクション記念講演会》(友の会との共催事業)

「熊谷守一について」 古川 秀昭 (岐阜県美術館学芸部長)	3月9日 (日) 58人
----------------------------------	-----------------

3. 定期講演会(連続講座)等

《連続講座：シュルレアリスムへの招待》

演題、講師名	開催日、聴講者数
「シュルレアリスムの誕生と展開」 村上 博哉（愛知県美術館主任学芸員）	11月9日（土） 72人
「日本のシュルレアリスム」 速水 豊（兵庫県立美術館主査学芸員）	11月10日（日） 55人
「シュルレアリスムと映画」 越後谷 卓司（愛知県文化情報センター学芸員）	11月17日（日） 54人
「シュルレアリスムとニューヨーク・スクール」 古田 浩俊（愛知県美術館主任学芸員）	11月24日（日） 35人

4. 展示解説会(ギャラリートーク)

展覧会	開催日	担当学芸員	参加者数
大英博物館所蔵フランス素描展	5月21日	鯨井 秀伸	26人
	5月28日	鯨井 秀伸	15人
	6月14日	栗田 秀法	16人
	6月18日	栗田 秀法	22人
韓国の色と光	8月3日	拝戸 雅彦	15人
	8月10日	拝戸 雅彦	16人
	9月7日	拝戸 雅彦	15人
	9月21日	拝戸 雅彦	15人
ミロ展	10月17日	村上 博哉	23人
	10月18日	古田 浩俊	20人
	10月31日	村上 博哉	45人
	11月1日	古田 浩俊	53人
中西夏之展	1月11日	木本 文平	15人
	1月18日	深山 孝彰	16人
	1月31日	木本 文平	20人
	2月7日	深山 孝彰	35人
	2月15日	木本 文平	25人
	2月18日	深山 孝彰	30人
時の贈りもの	3月8日	古田 浩俊	20人
	3月22日	村田 真宏	20人

＊「大英博物館所蔵フランス素描展」では、ギャラリートークに替えてアートスペースE・Fでスライド・レクチャーを行った。



5. 小・中・高の先生方との鑑賞学習交流会

対象：小学校・中学校・高校の教師

展覧会担当者による企画展説明を行うと同時に、美術館や学校での鑑賞教育について、アンケートの実施、実践発表、鑑賞会見学会などを通して、意見交換した。

内 容（企画展説明、学習会）	開催日	担 当	参加数
大英博物館所蔵フランス素描展	5月11日（土）	栗田秀法	30人
美術館利用概要説明		高橋秀治／藤島美菜	
韓国の色と光	7月27日（土）	拝戸雅彦	15人
小・中学校鑑賞実践例発表会		高橋秀治／藤島美菜 浅尾知子（白鳥小学校）	
ミロ展	10月20日（日）	村上博哉	20人
ミロ展子どもイベント見学会		藤島美菜	
中西夏之展	2003年	深山孝彰	20人
ミロ展鑑賞実践例（美術館、学校）	1月25日（土）	藤島美菜 塚田美紀（世田谷美術館） 浅尾知子（白鳥小学校） 厚東実 （愛知教育大附属名古屋小）	

6. 各種鑑賞プログラム

（1）児童、生徒を対象とした鑑賞教育

・大英博物館フランス素描展子ども向けイベント

「ばく、わたしの、王様、お姫様を完成させよう！」

4月27日（土）～5月6日（月）10:00～18:00

場所：展示室3

材料：クレヨン、色鉛筆、鉛筆

担当：藤島美菜、栗田秀法

展覧会出品作品の肖像画（2種類）を縮小して印刷した紙に、子どもたちが好きな洋服やポーズを自由に描きたした。展覧会会期中に展示した。

「親子で鑑賞を楽しむ会」

4月27日（土）5月11日（土） いずれも11:00～

大英博物館フランス素描展に関連して、親子で楽しく鑑賞するための話をした。

担当：藤島美菜

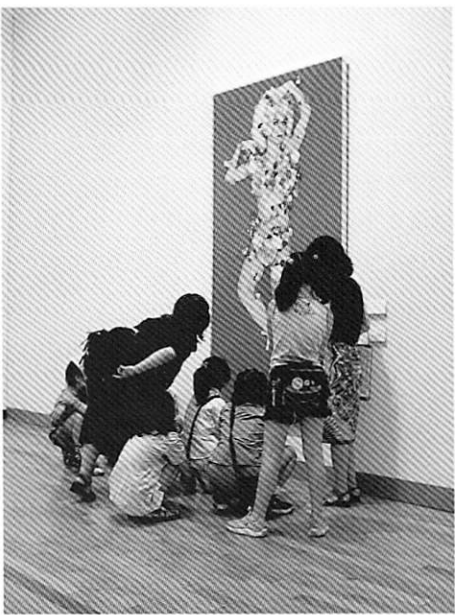


・夏休み子ども鑑賞会「アートをみよう！かんじよう！」

所蔵作品展示室や屋外展示スペースで、7～8人のグループで作品鑑賞を実施した。鑑賞補助資料として、ワークシート（A4判）、アートカードを作成した。また、作品に応じて、説明パネルを作成した。

担当：藤島美菜、深山孝彰、深山路子（研修生）

開催日	実施時間	対象	参加者数
7月30日(火)	10：00～12：00	小3-4	15人
7月30日(火)	14：30～16：30	小3-4	8人
8月1日(木)	10：00～12：00	小1-2	4人
8月1日(木)	14：30～16：30	小1-2	3人
8月3日(土)	10：00～12：00	小1-2	10人
8月7日(水)	10：00～12：00	小1-2	7人
8月7日(水)	14：30～16：30	小1-2	11人
8月8日(木)	10：00～12：00	中学生	11人
8月9日(金)	10：00～12：00	小5-6	15人
8月9日(金)	14：30～16：30	小3-4	16人



・ミロ展子どもむけイベント

「ミロをみよう！はなそう！」

ミロ展に併せて作成したカードを利用したゲームやワークシートの使用により、ミロの作品を鑑賞した。

担当：藤島美菜、深山路子（研修生）

場所：企画展示室

10月20日（日）	10：30～11：30	小1-2	14人
10月20日（日）	14：00～15：00	小3-6	8人
11月2日（土）	10：30～11：30	小1-2	9人
11月2日（土）	14：00～15：00	小3-6	38人

「ミロをかこう！」

ミロ展を鑑賞した子ども達が、気に入ったミロを自由に描く壁を展示室ロビーに設置し、描かれたものは展覧会会期中に展示室前室に展示した。

場所：10階展示室ロビー

時間：10:00-18:00

材料：クレヨン、色鉛筆、鉛筆

10月5日（土）	6日（日）	19日（土）	20日（日）
11月2日（土）	3日（日）	16日（土）	17日（日）



・春休み子ども鑑賞会

所蔵作品展で、主に《人生は戦いなり（黄金の騎士）》を7～8人のグループで鑑賞した。鑑賞補助資料として、アートパズル、アート図版、お絵かきシート（A4判）を作成した。小・中学校の教師が鑑賞会を見学した。

担当：藤島美菜、深山路子（研修生）

場所：所蔵作品展示室

2003年

3月29日（土）10:30～11:30 小1-3 14:00～15:00 小4-6

(2) 視覚に障害のある方へのプログラム

14年度はスケジュールの都合により正式なプログラム（鑑賞会）は開催しなかったが、名古屋YWCA美術ガイドボランティアグループ主催「立体コピー実習研修」への講師として、本館学芸員を派遣した。その成果として、受講者が所蔵作品展および「ミロ展」において自主的に立体コピーを作成し小人数での鑑賞会を行うことができるようになった。

・担当学芸員：深山 孝彰

・研修内容：

① 5月23日（木）13:30～15:30

立体コピーの仕組みと下図の作成

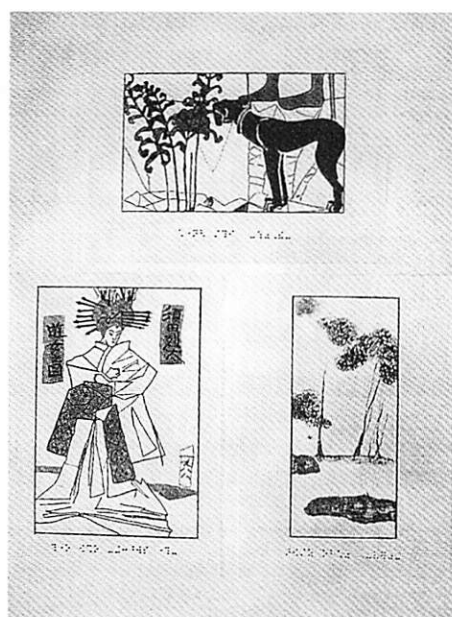
② 6月13日（木）13:30～15:30

下図の修正と立体コピーの作成

③ 6月27日（木）13:30～15:30

講評、立体コピーの使用方法について

・受講者：YWCA美術ガイドボランティア、名古屋市美術館ガイドボランティア、学生 など各回20名



(3) 教育的性格を重視した特集展示

「学芸員お薦めのこの1点」

所蔵作品展の前室にコーナーを設け、各期ごとに学芸員が交代で作品1点を選び、文字・写真のパネルや参考品を用いて、作品の見どころや制作の背景などを解説した。なお、この企画は平成12年度から実施している。

<作家名>	<作品名>	<期間>	<担当学芸員>
ジム・ダイン	《芝刈機》	第一期 前期	高橋 秀治
星野 真吾	《喪中の作品(昇天)》	第一期 後期	木本 文平
オーギュスト・ロダン	《歩く人》	第二期 前期	長谷川 三郎
エミール・ノルデ	《静物L》	第二期 後期	栗田 秀法
伊藤 廉	《肘をつく女》	第三期	村上 博哉

(4) 映像機器を利用した鑑賞教育

鑑賞教育のひとつとして、ビデオテークにおいて、所蔵作品や展覧会・作家などに関するビデオプログラムを提供しており、また主要な所蔵作品の画像と文字情報の検索システムを運用している。

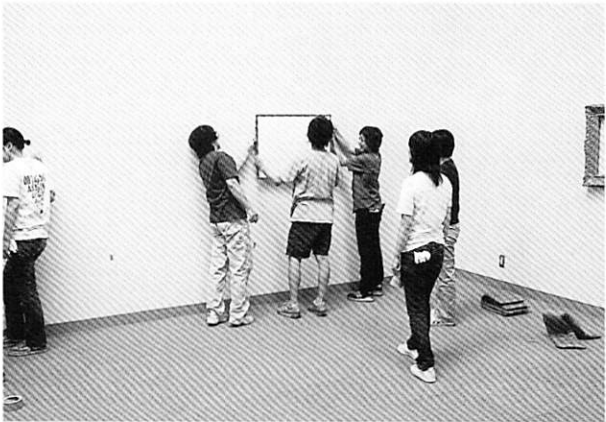
14年度は所蔵作品解説ビデオとして木村定三コレクションから作品12点、作家紹介ビデオとして画家杉本健吉氏に関するソフトを新規制作した。

- ・所蔵作品（木村コレクション）解説ビデオ（各約2分×12作品）
与謝蕪村《富嶽列松図》、与謝蕪村《若竹図》、
浦上玉堂《山紅於染図》、浦上玉堂《秋色半分図》、
《三尊仏龕像》、小川芋銭《若葉に蒸さる木霊》、
前田青邨《朝鮮五題 水汲》、長谷川利行《ノアノアの少女》、
熊谷守一《土饅頭》、香月泰男《風船売り》、
須田尅太《東大寺落慶供養》、尾崎良二《残照の四万十川》
担当学芸員：古田浩俊
- ・作家紹介ビデオ：「一感動を描く―杉本健吉の世界」（20分）
担当学芸員：木本文平

7. 博物館実習生及び研修生の受入れ

- ・博物館実習生：11名
担当学芸員：藤島美菜、高橋秀治
実習期間：2002年7月26日（金）～31日（水）＜5日間＞

氏名	大学	専攻	学年
遠山 麻衣	愛知学泉大学	家政学	4 年
小川久美子	愛知県立芸術大学	美術	4 年
澤出 玲奈	愛知県立芸術大学	油絵	4 年
水野 直子	愛知県立芸術大学	油絵	4 年
服部 郁美	金沢美術工芸大学	芸術学	4 年
大木智香子	帝塚山学院大学	美学美術史	4 年
井上 貴代	名古屋芸術大学	日本画	4 年
澤口 准子	名古屋芸術大学	彫刻	4 年
近藤 悦子	日本大学	絵画	4 年
須田 沙代	武蔵野美術大学	油絵	4 年
丸澤 一芳	名城大学	建築	4 年



・美術館研修生：9名
 担当学芸員：鯨井 秀伸、村上博哉、藤島美菜
 研修期間：2002年5月1日～2003年3月31日

氏名	大学・学部	学年
谷口 寛子	名古屋大学文学研究科	大学院研究生
森 美樹	同上	同上
奥野 美香	同上	美学美術史専攻博士課程前期2年
鳴戸 麻子	同上	同上
菊池 由花	同上	同上
小野 康子	同上	同上
松田 愛	同上	同上
羽飼佳代子	同上	同上
深山 路子	愛知教育大学教育学研究科	芸術教育専攻博士課程前期2年

* 研修生は藤井達吉コレクションの資料整備、企画展に関わる実務、教育普及の実務に従事した。

8. 美術館友の会の運営協力

会員数：

年 度	総 数	一 般 会 員		特別会員		総数の男女別内訳		
			内学生	個人	内団体	男性	女性	団体
1994年度	250人	224	区分ナシ	24	2	113	135	2
1995年度	350人	322	48	27	1	163	186	1
1996年度	381人	353	73	27	1	173	207	1
1997年度	446人	419	99	25	2	200	244	2
1998年度	420人	394	77	24	2	184	234	2
1999年度	381人	355	57	25	1	174	206	1
2000年度	441人	412	64	28	1	199	241	1
2001年度	448人	428	57	20	1	202	245	1
2002年度	448人	430	46	18	1	200	247	1

2002年度事業概要：

・企画展鑑賞会の実施

展覧会	開催日	講師	参加者数
フランス素描展	5月2日	栗田秀法	24人
	5月13日	栗田秀法	30人
韓国の色と光	7月31日	牧野研一郎	61人
	8月26日	牧野研一郎	14人
ミロ展	10月15日	村上博哉	27人
	10月24日	村上博哉	57人
中西夏之展	1月9日	深山孝彰	20人
	1月14日	深山孝彰	23人
時の贈りもの	3月6日	古田浩俊・村田真宏	20人
	3月10日	古田浩俊・村田真宏	20人

・「韓国宮廷舞踊鑑賞会」の実施

7月31日 参加者：87人 出演者：柳 美羅

・講演会の実施（美術館との共催事業）

「熊谷守一について」 3月9日

参加者：58人 講師：古川秀昭（岐阜県美術館学芸部長）

・美術講座の実施

「美術館って何？」 6月22日

参加者：41人 講師：高橋秀治

「美術館って何？2」 10月6日

参加者：23人 講師：村田真宏

「現代美術との対話法」 12月21日

参加者：27人 講師：馬場駿吉（友の会理事）

「ブロンズの話」 3月15日

参加者：40人 講師：長谷川三郎

・美術館への支援事業

「美術作品の寄贈」

版画家・磯見輝夫の作品《鳥の如く》始め2点

・広報事業

会報『空中回廊』No.15（2002年9月）、No.16（2003年3月）

の発行

企画展ポスター、チラシ等の宣伝材料の配布

・その他の事業

企画展及び所蔵作品展の無料観覧の実施

企画展関連商品の割引販売の実施（5%割引）

愛知県美術館が開催する講演会の聴講特別枠の設定

愛知県美術館が開催する講演会の経費協力

企画展の開会式及び内覧会の参加（但し、特別会員に限る）

芸術文化センター内のレストラン、喫茶店における利用割引の実施（10%割引）



2002年度の調査研究実績

当館および他の美術館や博物館の活動に関するもの、公的な助成による研究、学術雑誌や学会での発表に限定して記載し、一般の新聞・雑誌・画集・画廊カタログ等への寄稿（評論、解説、批評等）、および大学や市民講座・テレビ・ラジオ等で講義、講演は除いている。

ア. 所蔵品に関すること

- ・古田浩俊 「フランティシェク・クプカ《灰色と金色の展開》」
『愛知県美術館研究紀要』第9号（2003年3月）
- ・牧野研一郎 「木村コレクション覚書」『木村定三コレクション選』（2003年3月）

イ. 企画展に関すること

- ・栗田秀法 「フランス17世紀美術の展開と素描—王立絵画彫刻アカデミーを中心に—」
『大英博物館所蔵フランス素描展』（2002年4月）
- ・鯨井秀伸 「18世紀フランス美術の展開と素描—ロココ、雅宴、さまざまなジャンル—」
『大英博物館所蔵フランス素描展』（2002年4月）
- ・村上博哉 「ジョアン・ミロ 1918—1945」『ミロ展1918—1945』（2002年7月）
- ・深山孝彰 「中西夏之 絵と、絵の姿形」『中西夏之展』（2002年12月）

ウ. 管理・保存に関すること

- ・長屋菜津子 「美術館における虫菌害対策—日常管理における具体的事例集の作成」（ポーラ美術振興財団研究助成・共同研究）＜継続＞
- ・長屋菜津子 「環境にやさしい美術作品の害虫駆除素置換による低酸素濃度処置法の実用化に向けて」（笹川科学研究助成・共同研究）
- ・長屋菜津子 「博物館・美術館・図書館等におけるIPM：その基本理念および導入手順について」『文化財保存修復学会誌』47号（共同執筆、2003年3月）

エ. アート・ドキュメンテーションに関すること

- ・鯨井秀伸 「イメージの歴史研究」＜継続＞（科学研究費助成）

オ. その他

- ・高橋秀治 「アンドリュー・ワイエスと父N. C.」『第2回ワイエス・フォーラム（丸沼芸術の森）』口頭発表（2002年4月21日）
- ・木本文平 「芸術作品「野水信」さん」『雑草仲間NO. 3』（2002年10月）
- ・深山孝彰 「斜めから見た現代美術、そして「ポジション」」『現代美術のポジション2003』（名古屋市美術館、2003年1月）
- ・藤島美菜 「美術館と学校の共有の場を続けること」『2002アミューズ・ヴィジョン公開研究会報告書』（2003年2月）
- ・鯨井秀伸 「イタリア素描の主題研究」
『愛知県美術館研究紀要』第9号（2003年3月）

ギャラリー(貸館)

「愛知県美術館ギャラリー展示室等利用受付許可要領」にもとづき、8階の展示室A～J（全10室）を各種公募展・団体展等の利用に供している。2002（平成14）年の美術館ギャラリー展示室の利用申込みは170件あり、利用調整を行い、開催された展覧会は162件、利用率は100％であった。また入場者数は、52万3千人余で、多くの県民に親しまれ、利用された。

2002（平成14）年美術館ギャラリー利用状況

1 展示室利用状況 (単位：日数)

月別	区分	利用 可能 日数 a	利用 日数 b	利用 率 b/a	展示室別利用日数											審査保管室	
					A	B	C	D	E	F	G	H	I	J			
					第 1	第 2											
13年 1 月	24	24	100.0	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	18	7		
2 月	24	24	100.0	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	23	7		
3 月	27	27	100.0	27	27	27	27	21	21	21	27	27	27	18	17		
4 月	25	25	100.0	25	25	25	25	25	25	25	19	19	25	8	24		
5 月	27	27	100.0	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	15	23		
6 月	22	22	100.0	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	18	0		
7 月	26	26	100.0	26	26	26	26	26	26	20	26	26	20	1	18		
8 月	27	27	100.0	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	7	19		
9 月	25	25	100.0	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	2	22		
10月	27	27	100.0	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	21	18		
11月	26	26	100.0	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	13	30		
12月	23	23	100.0	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	12		
計	303	303	100.0											167	197		

2 展覧会種別利用状況及び入場者数

区分 月別	展覧会種別利用件数(件)								入場者数 (人)
	総合展	絵画展	彫刻展	工芸展	書道展	デザイン展	写真展	計	
13年1月	4	1	0	0	2	0	0	7	128,130
2月	1	2	0	1	1	1	0	6	23,102
3月	3	3	0	0	6	1	1	14	32,893
4月	2	6	0	1	4	0	0	13	39,629
5月	6	7	2	0	2	0	0	17	48,473
6月	4	3	1	0	2	0	0	10	26,090
7月	6	5	0	2	5	0	3	21	40,367
8月	6	1	0	0	3	0	0	10	33,679
9月	4	9	0	1	3	0	2	19	41,010
10月	11	3	0	0	3	0	0	17	47,609
11月	2	5	0	1	6	0	0	14	27,634
12月	4	6	0	1	2	1	0	14	34,183
計	53	51	3	7	39	3	6	162	522,799

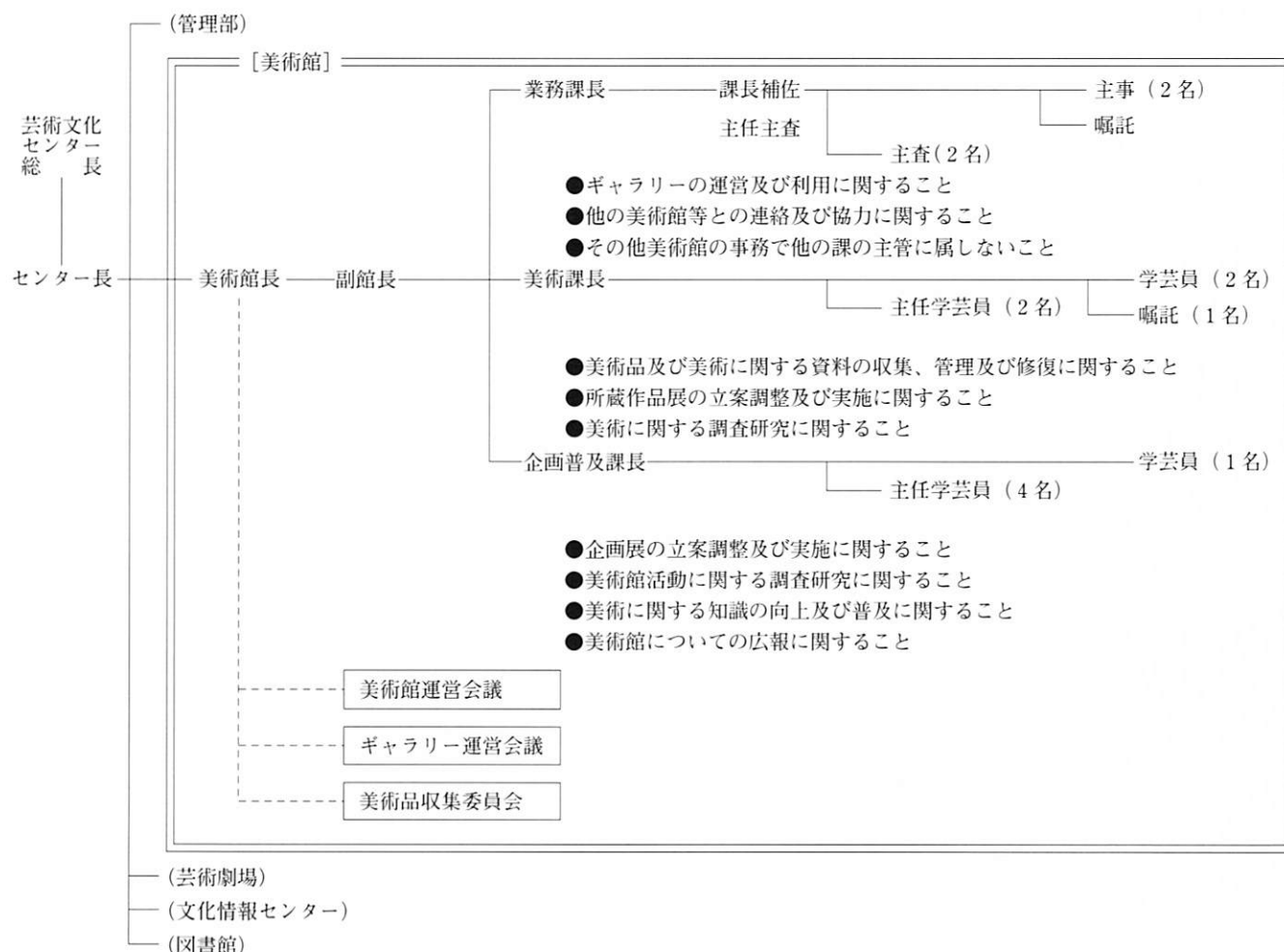
(注) 利用件数及び入場者数は、展覧会会期の初日に属する月で整理した。

[illegible]

[illegible]

組織および職員構成

1. 組織図



2. 愛知県美術館職員名簿(2003年3月)

館長	長谷川三郎
副館長	牧野研一郎
業務課長	立松正康
課長補佐	奥村 正
主任主査	山田英一
主査	内藤早苗
〃	加賀勝己
主事	足立理恵
〃	永尾有賀里
嘱託	木全康子
美術課長	村田真宏
主任学芸員	古田浩俊
〃	鯨井秀伸
技師(学芸員)	拝戸雅彦
〃	長屋菜津子
嘱託(産休代替)	池田素子
企画普及課長	木本文平
主任学芸員	高橋秀治
〃	村上博哉
〃	深山孝彰
〃	栗田秀法
技師(学芸員)	藤島美菜

関係委員会名簿(2003年3月、50音順)

愛知県美術館運営会議委員名簿

	氏 名	職 名(所 属)
	浅野 徹	名古屋芸術大学教授
	内山 武夫	京都国立近代美術館長
	岡部 あおみ	武蔵野美術大学教授
	笠井 誠一	愛知県立芸術大学名誉教授
◎	島田 章三	愛知県立芸術大学長
	白石 和己	三重県立美術館長
	竹内 正	名古屋市博物館長
○	中村 英樹	名古屋造形芸術大学教授
	野々川房子	日本メナード化粧品(株)常務取締役 メナード美術館アート・プロデューサー
	馬淵 明子	日本女子大学教授
	三浦 定俊	東京国立文化財研究所保存科学部長
	宮澤 明倫	名古屋市美術館長
	森 宏	愛知県文化振興事業団常務理事兼事務局長
	矢野 秀夫	愛知県県民生活部文化学事課長

◎ 会長 ○ 会長職務代理 (50音順)

愛知県美術館ギャラリー運営会議委員名簿

	氏 名	職 名(所 属)
	浅田 員由	陶磁資料館学芸部長
	石黒 鏑二	彫刻家・行動美術協会会員
◎	笠井 誠一	洋画家・立軌会会員(愛知県立芸術大学名誉教授)
	島田 章三	洋画家・国画会会員(愛知県立芸術大学長)
	竹内 正	名古屋市博物館長
	樽本 樹邨	書家・日展会員(中京大学教授)
○	中村 英樹	名古屋造形芸術大学教授
	松井 和弘	日本画家・創画会会員
	森 宏	愛知県文化振興事業団常務理事兼事務局長
	矢野 秀夫	愛知県県民生活部文化学事課長
	山脇 一夫	美術評論家(金城学院大学教授)

◎ 会長 ○ 会長職務代理 (50音順)

愛知県美術館美術品収集委員会委員名簿

	氏 名	職名(所属・専門分野)
	浅野 徹	名古屋芸術大学教授 (日本近代美術史)
◎	内山 武夫	京都国立近代美術館長 (日本近代美術史)
	千足 伸行	成城大学教授 (西洋近代美術史)
○	中村 英樹	名古屋造形芸術大学教授 (現代美術評論)
	山梨 俊夫	神奈川県立近代美術館副館長兼学芸課長 (近代美術史)

◎ 委員長 ○ 委員長職務代理 (50音順)

愛知県美術館年報	2002 年度版 2004 年 3 月発行
編集	愛知県美術館
発行	愛知県美術館 名古屋市東区東桜1-13-2 〒461-8525 PHONE : 052-971-5511 FAX : 052-971-5604
表紙デザイン・本文レイアウト	小谷恭治
印刷	凸版印刷株式会社

2002 Annual Report, Aichi Prefectural Museum of Art

Edited by

Aichi Prefectural Museum of Art

Published by

Aichi Prefectural Museum of Art

1-13-2 Higashisakura Higasiku,

Nagoya, 461-8525, Japan

Designed and layouted by

Kyoji KOTANI

Printed by

Toppan Print Co.

©2004

Printed in Japan